



取扱説明書

LIFEBOOK
AHシリーズ

FUJITSU

サポート情報のご案内

紙
マニュアル

□『箱の中身を確認してください』

添付品の一覧です。ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。

□『取扱説明書』(本書)

使い始めるために必要な情報を中心に説明しています。

お使いの機種により、これ以外にもマニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

電子
マニュアル

インターネットに接続してください

□『取扱説明書<詳細版>』

このパソコンの取り扱い方法や、細かい設定を変更する方法などを説明しています。

□『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

Windows 8.1の基本的な操作や、詳しい操作・便利な使い方などを紹介します。

※お使いの機種により、上記以外の電子マニュアルがWebに用意されている場合があります。
Webに掲載されている電子マニュアルの参照方法については「マニュアルの表記」をご覧ください。



「富士通アドバイザー」からご覧ください。
スタート画面のタイルをクリックします。

□『取扱説明書<詳細版>』

□『Windows 8.1 基本操作 クイックガイド』

クリックし、「トラブル解決」の一覧が表示されたら、「Windows 8.1 基本操作クイックガイド」をクリックしてください。



※デスクトップ版「富士通アドバイザー」からもご覧になります。

FMV
サポート

インターネットに接続してください

サポートページ <http://azby.fmworld.net/support/>

FMVに関するQ&A事例や活用情報など、「知りたい・困った」とときに役立つ情報を提供しています。

The screenshot shows the FMV Support website. At the top, there's a search bar and a navigation menu with links like 'ホーム > FMVサポート' and 'FMVサポート' (with sub-links for 'FAQ', 'Q&A', 'パソコン活用情報', and 'FMVカスタマーサポート').

A large oval highlights the 'Q&A' section, which includes a search bar ('キーワードを入力して検索'), a list of questions ('お困りのことから探す'), and a 'お役立ちコーナーを見る' button.

Below the Q&A section, there are several other sections: 'サポートコーナー最新情報', 'よくあるお問い合わせ', '豊富なQ&Aでトラブルを解決!', 'サポートサービス', and 'お問い合わせ窓口'.

A callout bubble at the bottom left points to the 'Q&A' section with the text 'さまざまな使い方のご提案
「パソコン活用情報」'.

「富士通アドバイザー」の「サポートページで調べる」からサポートページを開くこともできます。

※デスクトップ版「富士通アドバイザー」では「サポート&サービス情報」タブにリンクがあります。

(この画面は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。)

目次

このパソコンをお使いになる前に	3
マニュアルの表記	6
安全上のご注意	9
取り扱い上のご注意	13
パソコンの使用環境についての注意	13
使用上のお願い	14
疲れにくい使い方	15
各部の名称について	16
セットアップする	
セットアップを始める前のチェック	17
セットアップの流れを確認する	17
パソコンの準備をする	18
Windows のセットアップをする	19
パソコンを快適にお使いいただくための準備をする	31
「富士通アドバイザー」の準備をする	31
「はじめに行う設定」で初期設定する	33
困ったときは	
メールや Office で困ったときは	34
ウイルス対策アプリなどで困ったときは	35
マカフィー リブセーフのお問い合わせ先 ..	35
アプリのお問い合わせ先の確認方法	35
よくあるトラブルと解決方法	36
トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください	36
起動・終了時のトラブル	36
ディスプレイのトラブル	37
ここまで確認でトラブルが解決しない場合	38
「富士通ハードウェア診断ツール」を使う	38
パソコンを以前の状態に戻す	39
「トラブル解決ナビ」を起動する	39
富士通の窓口に相談する	41
ユーザー登録のご案内	41
サポート&サービス紹介	41
ご購入時の状態に戻す	
ご購入時の状態に戻すリカバリとは	46
ご購入時の状態に戻すリカバリの準備	46
ご購入時の状態に戻すリカバリの注意	46
作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法	47
ディスクが必要な場合	47
ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する ..	47
C ドライブを初期状態に戻す	47
Windows のセットアップをする	48

付録

インターネットに接続せずにセットアップしたときは	50
Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する	50
インターネットに接続する	50
Microsoft アカウントに切り替える	52
インターネットを安心してお使いいただくために	52
青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について	52
パソコンの電源を完全に切る	53
富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内	53
PC リサイクルマークについて	53
パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意	53
付属品の廃棄について	54
液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ	54
海外でのノートパソコンの修理について	54
富士通パーソナルコンピュータ修理規定	56

仕様一覧

パソコン本体の主な仕様	58
仕様一覧の注記について	59

取扱説明書＜詳細版＞について

本書のより詳しい内容を説明したインターネット上のマニュアルです。本書に掲載されている内容のほかに、次のような内容も記載されています。参照方法は本書の表紙の裏面をご覧ください。

●各部の名称と働き

本製品の各部分の名称と働きについて説明しています。

●取り扱い

本製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。主な掲載内容は次のとおりです。

- ・Windows のスタート／終了方法
- ・バッテリ、フラットポイント、CD/DVD ドライブ、メモリーカードなど各部の取り扱い方法
- ・音量や画面の明るさの調節、電源オフ USB 充電機能の使い方
- ・お手入れの方法

●便利な機能のご紹介

本製品ならではの次のような機能についてご紹介しています。

- ・My Cloud、ソフト使い放題
- ・F-LINK（ケータイ連携機能）
- ・ハンドジェスチャー
- ・Sense YOU Technology 機能
- ・ステータスパネルスイッチ

●バックアップ

本製品に搭載されている「バックアップナビ」を使って大切なデータをコピー（バックアップ）する方法を説明しています。

●使いこなすために

さらに本製品を使いこなすために、次のような機能の細かい設定方法などを説明しています。

- ・ディスプレイ、サウンド、通信
- ・スリープ、パソコンの節電
- ・BIOS の設定

このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上の注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとりください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内のハードディスクに格納しています。

セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。

ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストア アプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします）。

添付品は大切に保管してください

ディスクやマニュアル等の添付品は、本製品をご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間、1ヶ月に25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミニウム电解コンデンサーは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、电解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、キーボード、マウス、AC アダプタ、電源ユニット、ファン

消耗品について

- ・バッテリパックや乾電池等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならばに交換となります。
- ・一般的にバッテリパックは、300～500回の充放電で寿命となります。(温度条件や使用環境によって異なります。)

24時間以上の連続使用について

本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品に接続するLANケーブルはシールドされたものでなければなりません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線LANについて

2.4 DS/OF 4



- ・上記表示の2.4GHz帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能で、変調方式としてDSSS変調方式およびOFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は40mです。
- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
 - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a準拠では見通し半径15m以内、IEEE 802.11b準拠、IEEE 802.11g準拠では見通し半径25m以内、IEEE 802.11n準拠では見通し半径50m以内となります。ただし、無線LANの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・IEEE 802.11g準拠とIEEE 802.11b準拠の無線LANの混在環境においては、IEEE 802.11g準拠はIEEE 802.11b準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g準拠とIEEE 802.11b準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を5チャンネル以上あけてお使いください。
- ・本製品に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHz帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
- ・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジーについて

2.4 FH4

- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パソコン製品に関するお問い合わせ窓口」
- 本製品は、日本国内でのみ無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内（出力 Class2 の最大値）です。
ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパソコンコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。また、バッテリ残量が不充分な場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリプロモビフェニル、ポリプロモジフェニルエーテルの 6 物質>の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。

本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.fmworld.net/fmv/jmoss/>

クラス 1 レーザ製品

IEC 60825-1:2007

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2014 年 9 月現在のものです。

お問い合わせ先や URL などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■本文中の書き分けについて

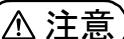
このマニュアルには、複数の機種の内容が含まれています。機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。

お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称と働き」、「仕様一覧」、富士通製品情報ページ（<http://www.fmworld.net/fmv/>）で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

□警告レベルを表すシンボルマーク

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあります。その切迫の度合いが高いことを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危険や障害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

 破裂注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	 高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
 レーザー光注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	 指のケガに注意	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。

 一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	 火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
 接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触ることによって傷害が起こる可能性を示します。	 水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
 分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	 ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
 水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

 アース線を接続せよ	安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。	 プラグを抜け	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。
 一般指示	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。		

■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。

これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	以降の手順が分かれることを表しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	「富士通アドバイザー」で見るマニュアルを表しています。参照方法は表紙の裏面をご覧ください。
	CD や DVD などのディスクを表しています。
→	参照ページを表しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■操作手順について

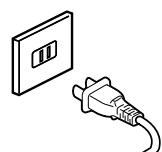
このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。

なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。



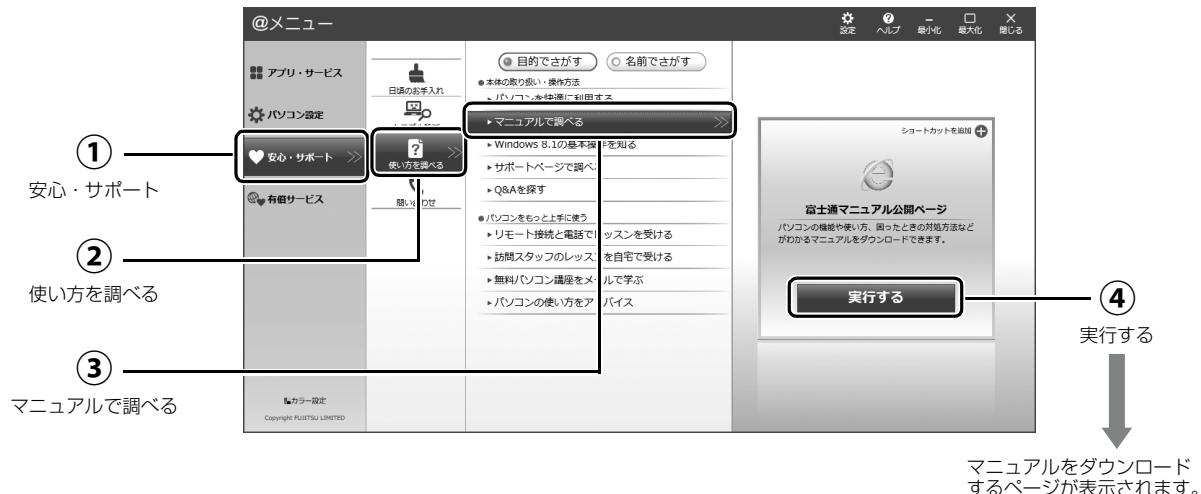
■製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記することができます。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 8.1	Windows または Windows 8.1
Windows 8.1 Pro	Windows または Windows 8.1
Windows Internet Explorer 11	Internet Explorer 11 または Internet Explorer
Office Personal Premium プラス Office 365 サービス	Office または Office Personal Premium
Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス	Office または Office Home & Business Premium
Microsoft Word 2013	Word
Microsoft Excel 2013	Excel
Microsoft Outlook 2013	Outlook
Windows Media® Player 12	Windows Media Player
Windows Live®	Windows Live
Bluetooth®	Bluetooth
Corel® WinDVD®	WinDVD
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ
Roxio Creator LJ	Roxio Creator
「ソフ得」ソフト使い放題 by OPTiM	ソフト使い放題

■Webに掲載されている電子マニュアルの参照方法

スタート画面で「@メニュー」をクリックします。



安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。
<http://azby.fmworld.net/support/manual/safety/>
ACアダプタと電源ケーブルが添付されている場合、ここでは、ACアダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。

お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

設置／準備

⚠ 警告



コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

一般禁止

万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。



梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。

一般禁止

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。

一般指示

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。

一般禁止

本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。



本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

一般禁止

火災の原因になります。



矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用AC電源など）に接続しないでください。

一般禁止

火災の原因になることがあります。



本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。

一般指示

ケーブルに足を引っかけ、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電、火災の原因になります。



電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。

間違えると電池の破裂、液漏れ、発火の原因になります。



一般指示

電源ケーブルやACアダプタは、指定された電圧(100V)の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。

不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。



タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。

一般禁止



アース線を接続せよ

一般禁止

プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。

一般禁止



濡れた手で電源ケーブルやACアダプタを抜き差ししないでください。

ぬれ手禁止

感電の原因になります。



ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。

一般禁止

発熱して、火災の原因になります。

⚠ 注意



本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

一般禁止

感電、火災の原因になることがあります。



本製品やACアダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカベットの上で使用したり、置いたりしないでください。

一般禁止

感電、火災、故障の原因になります。



本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。

一般禁止

電源ケーブルやACアダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。

一般禁止

・電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。

一般禁止

・接続されたケーブルなどを外してください。

一般禁止

・作業は足元に充分注意して行ってください。

一般指示

使用時

△ 警告



火中に投入、加熱しないでください。
発煙、発火、破裂の原因になります。

火気禁止



端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。

一般禁止



発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

プラグを抜け



落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

プラグを抜け



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電、火災の原因になります。

一般禁止



本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に載ったり、寄りかかったりしないでください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

一般禁止



排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。
排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。
低温やけどの原因になります。

一般禁止



風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になります。

水場使用禁止



本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。

水ぬれ禁止



本製品を持ち上げたり運んだりする場合、液晶ディスプレイや液晶ディスプレイの枠部分を持たないでください。
故障、けがの原因になります。
持ち上げたり運んだりするときは、本製品の底面あるいは本製品中央の両脇を持ってください。

一般禁止



使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないでください。
通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因になります。

一般禁止

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

一般指示

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。

誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。

一般禁止

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。

一般禁止

AC アダプタ本体を落とさせたり、強い衝撃を与えないでください。

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

一般禁止

自転車、バイク、自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因になります。安全な所に止めてからお使いください。

一般禁止

バッテリパックや電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。

液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。

- ・指定された方法以外で使用しない
- ・分解や改造をしない
- ・加熱したり、火の中に入れたりしない
- ・熱器具に近づけない
- ・火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えない
- ・ショートさせない
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れたりしない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに携帯、保管しない
- ・お子様の手の届く所に保管しない
- ・乾電池を充電しない
- ・ハンダ付けしない

特に、バッテリパックは、落下などの衝撃による内部の電池や回路基板の損傷によって発熱・発火、けがの原因になったり、破裂・液もれによる周囲の汚損の原因になることがあります。

バッテリパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観に明らかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。

一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。

一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
感電、火災の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。



一般指示

無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、CLEARASURE、ワイヤレスキーボード／マウスの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。「ワイヤレススイッチ自動オン機能」対応の CLEARASURE 搭載機種の場合は、自動的に無線通信機能がオンにならないようにしてください。

無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- ・満員電車の中など付近（15cm（NFC ポートは 12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことご注意ください。

- ・光源部を見ないでください。
光学ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
- また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線をのぞきこまないでください。
- レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
- お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
- レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。



レーザー光注意

レーザーマウスは底面から、目に見えないレーザ光が出ています。

クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。



レーザー光注意

△ 注意



一般禁止

本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。



一般指示

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10～15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るよう調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるよう使用する。



指のケガに注意

液晶ディスプレイを開閉するとき、手などをはさまないよう注意してください。

けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



指のケガに注意

光学ドライブのトレイやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。
ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般禁止

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。



一般指示

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因になります。



高温注意

「ExpressCard™」、「PC カード」、「SD メモリーカード」、「メモリースティック」、「UIM カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。

これらを取り外すときは、使用後充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。

やけどの原因になります。



一般禁止

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザ光が出ています。

目の痛みなど、視力障害を起こすことがあります。

メンテナンス／増設

⚠ 警告



お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

けが、感電、火災の原因になります。

分解禁止



取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。

作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触ると、けが、故障の原因になります。



メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。

カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。
やけど、感電、火災の原因になります。



清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

故障や火災の原因になります。



本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。



必ず本製品に添付のバッテリパックを使用してください。寿命などでバッテリパックを交換する場合は、必ず指定品を使用してください。

指定以外のバッテリパックは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発熱のおそれがあります。



指定以外の電池は使用しないでください。

また、2本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。



電源ケーブルやACアダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまつたままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。



プラグを抜け

バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも外してください。

故障、感電、火災の原因になります。



周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

⚠ 注意



周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。

けが、故障の原因になります。



本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。

けが、故障の原因になります。



電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。

メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、充分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。

やけどの原因になります。



内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。

けがの原因になります。

異常時

⚠ 警告



本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルやACアダプタを抜いてください。



プラグを抜け

バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による故障、感電、火災の原因になります。



タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用するだけをするおそれがあります。



一般指示

バッテリパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。失明など障害の原因になります。液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

△ 注意



指のケガに注意

カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。中毒を起こすことがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

保管／廃棄

△ 警告



破裂注意

バッテリパックの廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

バッテリパックはリチウムイオン電池を使用しており、一般的のゴミといっしょに火中に投じられると破裂のおそれがあります。

△ 注意



プラグを抜く

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。

バッテリパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。

火災の原因になります。

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品はリチウム電池を使用しております。ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電池を使用しております。

一般的のゴミといっしょに火中に投じられると電池が破裂するおそれがあります。

使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。



破裂注意

取り扱い上のご注意

パソコンの使用環境についての注意

パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。

内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

・パソコンをお使いになる環境の温度と湿度

次の範囲内としてください。

- ・動作時：温度5～35℃／湿度20～80%RH
- ・非動作時：温度-10～60℃／湿度20～80%RH

・パソコンの結露

動作時、非動作時にかかわらず、パソコン本体が結露しないようにご注意ください。

結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。パソコンを温度の低い場所から温度の高い場所、または、温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、パソコン内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となります。

パソコンを移動したときは、直射日光が当たらない風通りの良い場所に設置し、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

・パソコンをお使いになれない場所

- ・直射日光のあたる場所

感電、火災、破損や故障の原因となります。

・水など液体のかかる場所

パソコン内部の回路がショートして、壊れてしまうことがあります。

・ほこりの多い場所や、油を使用する場所

ファンに詰まったほこりや油分で放熱が妨げられ、故障の原因となります。

・熱がこもりやすい場所（棚、ドア付AVラック、ふとんやクッションの上など）

放熱が妨げられ、故障の原因となります。パソコン本体およびACアダプタは平らで堅い机の上などに置いてください。

・静電気の発生しやすい場所

パソコンは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまつた静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシャやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。

・電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所

故障や機能低下の原因となります。

・腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所

パソコン本体が腐食する可能性があります。

・吸気孔や排気孔

- ・吸気孔や排気孔をふさがないでください。

放熱が妨げられ、故障の原因となります。

パソコン本体と壁の間に前後左右10cm以上のすき間を開けてお使いください。

- ・排気孔の近くに物を置いたり、排気孔の近くには手を触れないでください。

排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。

・パソコン使用中の環境

- ・電源が入っているときは、キーボードの上に書類などのおおいからぶさる物を置かないでください。

放熱が妨げられ、故障の原因となります。

- ・パソコン本体のそばで喫煙しないでください。

タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、ファンなどの機能を低下させる可能性があります。

- ・パソコンを長時間同じ場所に設置すると、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。

・無線通信機能をお使いになる場所

- ・パソコン本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。
- ・お使いになる場所によっては電波を停止する必要があります（「安全上の注意」▶「無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、CLEARASURE、ワイヤレスキーボード／マウスの注意」(→ P.11)）。機内モードに切り替えて電波の発信を止めてください。

手順については、サポートページから Q&A ナンバー「5909-9593」を検索してご覧ください。

使用上のお願い

■パソコン本体の取り扱い上の注意

- ・衝撃や振動を与えないでください。
- ・操作に必要な部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ・磁気ブレスレットや磁気ネックレスなど、磁気を発生するものを身につけたまま、操作しないでください。
画面が表示されなくなるなどの故障の原因となるおそれがあります。
- ・液晶ディスプレイを閉じてもスリープや休止状態にしない設定の場合は、電源が入っているときにパソコン本体の液晶ディスプレイを閉じないでください。
パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因となることがあります。
- ・バッテリパックを取り外した状態で使用しないでください。パソコン本体は、バッテリパックを取り外したまま使用するようには設計されていません。水などの液体や金属片などの異物が混入し、故障・感電・火災の原因になる可能性があります。
- ・水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。
故障の原因になる可能性があります。
- ・パソコン本体を立てたり、傾けて置かないでください。
パソコン本体が倒れて、故障の原因となることがあります。

- ・パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

- ・キーボードやパームレスト部（手を載せる部分）に手をついて立ちあがったり、ひじをついたりしないでください。
キーボードやパームレスト部を強く押すと、パソコン内部にある光学ドライブやハードディスクに力が加わり、故障の原因となる可能性があります。

■パソコンの温度上昇について

- ・長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じることがありますが、故障ではありません。

これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、キーボードなどの表面も温かくなるためです。

- ・ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。

パソコンの底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。

- ・使用するアプリによっては、パームレスト部（手を載せる部分）が多少熱く感じられることがあります。長時間使用する場合には低温やけどを起こす可能性がありますので、ご注意ください。

■パソコン内部からの音について

パソコン本体内部からは、次の音が聞こえることがあります
が、これらは故障ではありません。

- ・内部の熱を外に逃がすためのファンの音
- ・ハードディスクがデータを書き込む音
- ・CD/DVDドライブのディスク読み取りヘッドが移動する音

■パソコンを持ち運ぶ場合の注意

- ・必ずパソコンの電源を切り、電源が入ったまま持ち運ばないでください。また、電源を切ってから動かす場合も、5 秒ほど待ってから動かしてください。

衝撃によりハードディスクドライブが故障する原因となります。

- ・液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体に接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。

- ・パソコン本体にメモリーカードをセットしている場合は必ず取り外してください。

- ・パソコン本体を持ち上げたり移動させたりするときは、両手で握んでください。

- ・パソコン本体や AC アダプタを運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。

- ・パソコン本体をかばんなどに入れて持ち運ぶ場合には、次の点に注意してください。

- ・パソコン本体の背面を下側にして、かばんなどに入れてください。

- ・AC アダプタをいっしょに入れて持ち運ぶと、AC アダプタでパソコン本体を傷つけたり、破損したりするおそれがあります。

- ・パソコン本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。

■液晶ディスプレイの取り扱い上の注意

- ・液晶ディスプレイを開閉するときは、次の点に注意してください。
 - ・衝撃を与えないようにゆっくりと開閉してください。
 - ・無理に大きく開けないでください。
- ・液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。また、ひっかいたり先のとがったもので押したりしないでください。
- ・表示面・天板面にかかわらず、液晶ディスプレイに強い圧力が加わると、画面にムラが発生する場合があります。
- ・液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・液晶ディスプレイを開いたまま、パソコン本体を裏返して置かないでください。
- ・液晶ディスプレイとキーボードの間に、物をはさまないでください。

■雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

ただし、どのような避雷器をお使いになつてもパソコン本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

□落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。

・直撃雷

避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。

ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。

・誘導雷

パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。

雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LANケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

□落雷時の故障について

落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

また、場合によっては、落雷によってパソコン本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

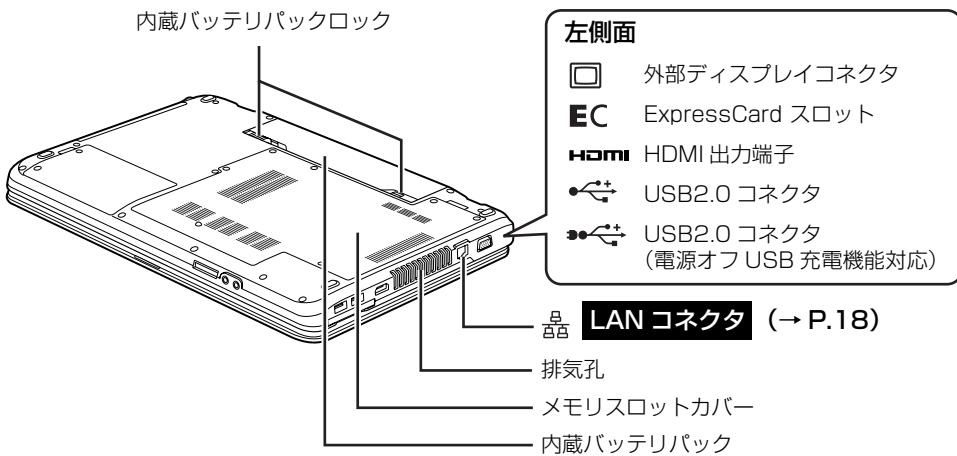
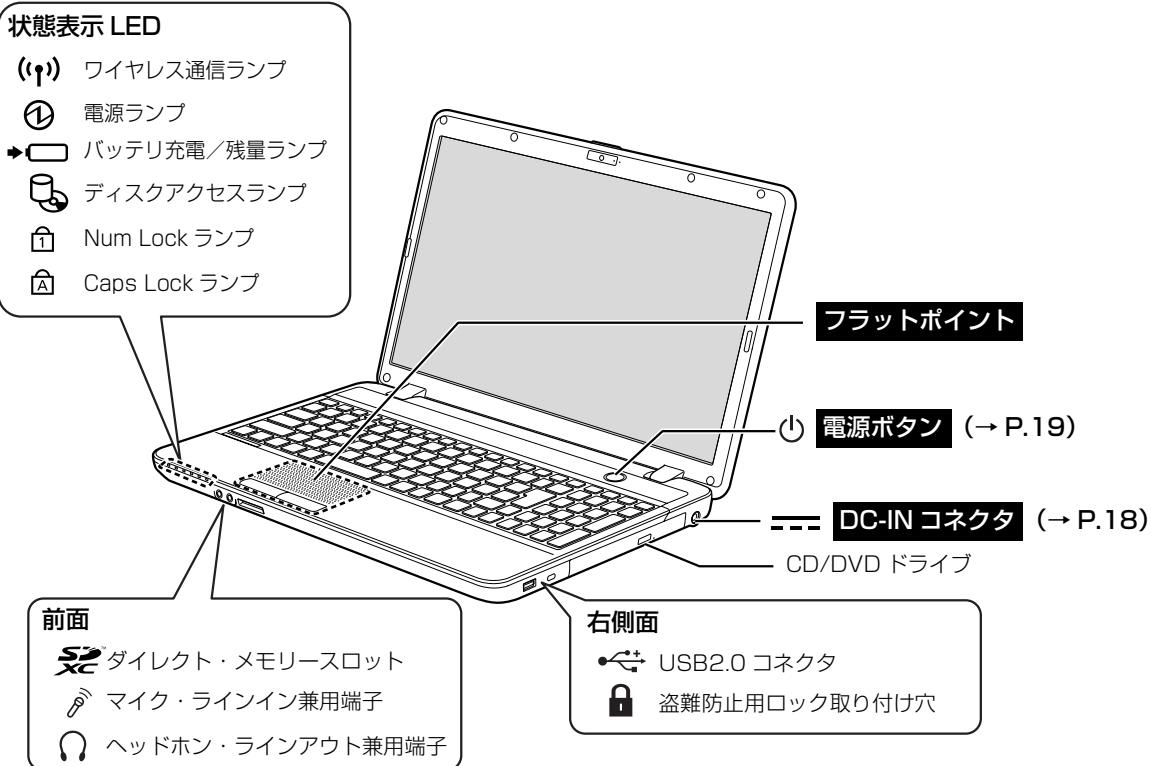
疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

- ・直射日光があたらない場所や、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしない場所に設置し、画面の向きや角度を調節しましょう。
- ・画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調節しましょう。
- ・目と画面との距離をとり、疲れない位置を保って利用しましょう。
- ・1時間以上続けて作業しないようにしましょう。
- ・続けて作業をする場合には、1時間に10~15分程度の休憩時間をとりましょう。
- ・休憩時間までの間に1~2分程度の小休止を1~2回取り入れましょう。
- ・一定の時間ごとに、休憩をお勧めするウインドウを表示する機能などを利用しましょう。詳しくは、『取扱説明書<詳細版>』の「Sense YOU Technology 機能(人感センサー機能)」をご覧ください。

各部の名称について

このパソコンの各部の名称は次のとおりです（イラストは機種や状況により異なります）。



Point

- 各部の働きなど詳しくは、『取扱説明書<詳細版>』の「各部の名称と働き」をご覧ください。

セットアップする

セットアップを始める前のチェック

セットアップの準備が整っているか確認してください。

添付品の確認は済んでいますか？

→まだの場合は、『箱の中身を確認してください』をご覧ください。

パソコンを使用する場所は決まっていますか？

→使用場所については、「パソコンの使用環境についての注意」(→ P.13)をご覧ください。

インターネットに接続する準備ができますか？

→できていない場合は、プロバイダーと契約してください。

ワイヤレス（無線 LAN）を使う場合、ネット

ワーク名（SSID）とパスワードが必要です！

→セットアップの途中で必要になりますので、あらかじめ記載しておいてください。

*わからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

パスワードはセキュリティキーなどの名称で説明されていることもあります。

ネットワーク名
(SSID)

パスワード



セットアップの流れを確認する

パソコンの準備をする (→ P.18)



Windows のセットアップをする (→ P.19)

Windows のセットアップをする



Windows を終了する



パソコンを快適にお使いいただくための準備をする (→ P.31)

● **セットアップ前に周辺機器を接続しないでください**
プリンター、USB メモリ、メモリーカードなどは、「Windows のセットアップをする」が終わるまで接続しないでください。

● **必ず AC アダプタを接続してください**
途中でバッテリ残量がなくなると電源が切れてしまい、故障の原因になる場合があります。

所要時間は約 30 分～1 時間です。

● **このあいだは絶対に電源を切らないでください**
途中で電源を切ると、故障の原因になる場合があります。

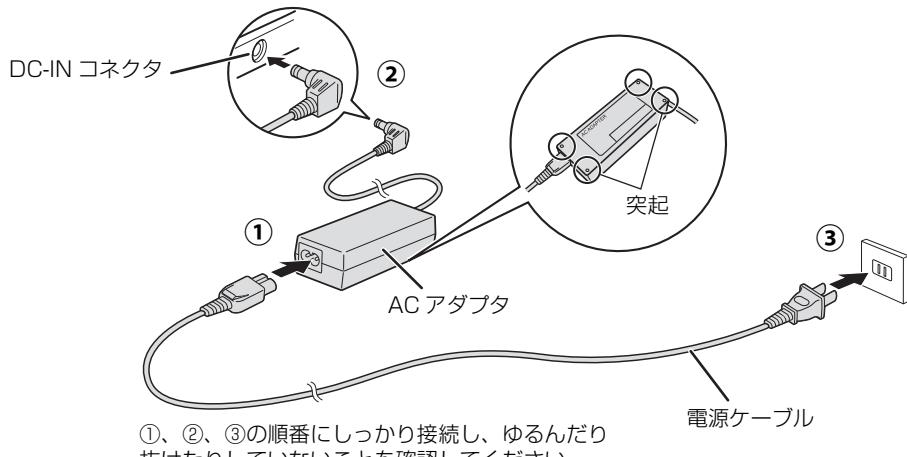
● **時間に余裕をもって作業してください**

パソコンの準備をする

1 パソコンを電源に接続します。

- ① AC アダプタに電源ケーブルを接続します。
- ② パソコン本体側面の DC-IN コネクタ (→ P.16) に接続します。
- ③ 電源プラグをコンセントに接続します。

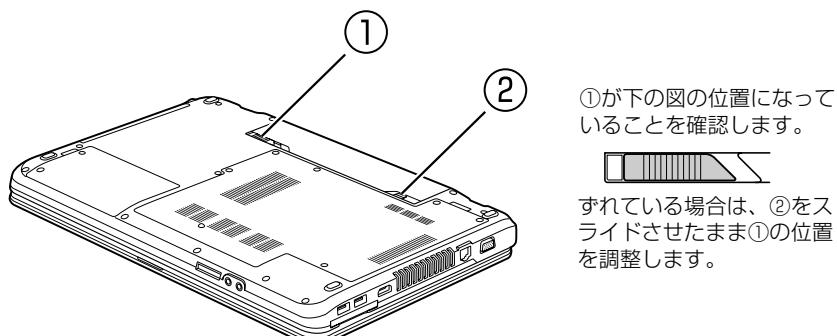
AC アダプタに突起がある場合は、その面を下にして設置します。



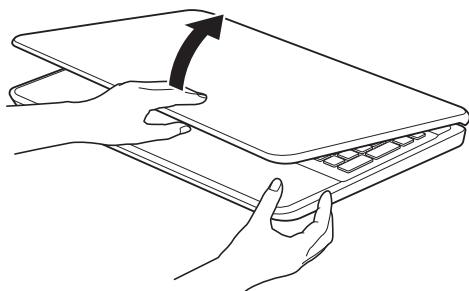
(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

2 有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルを LAN コネクタに接続します。

3 内蔵バッテリパックロックがロックされていることを確認します。



4 パソコン本体と液晶ディスプレイ上部中央に手を添えて開きます。



Windows のセットアップをする

1 有線 LAN をお使いになる場合、LAN ケーブルが LAN コネクタに接続されているか確認します。

2 無線 LAN をお使いになる場合、接続するネットワーク名 (SSID) とパスワードを確認します (→ P.17)。

3 電源ボタン (○) をポチッと押します。



■ 重要

- ▶ 「地域と言語」画面が表示されるまで絶対に電源を切らないでください。

4 「地域と言語」画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。



画面が何度か変化します。

Point

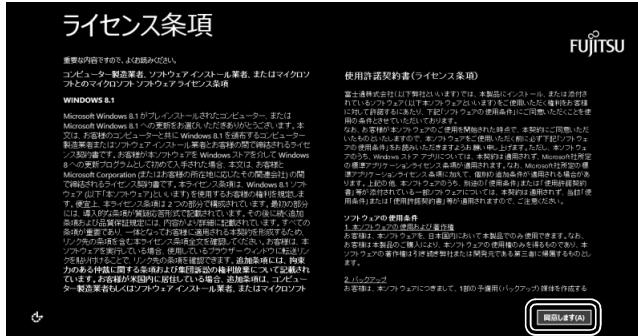
- しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがあります。電源が切れたわけではありません。フラットポイントやマウス、キーボードを操作すると元の画面に戻ります。画面が戻らなかった場合は、電源ボタン(↓)をポチッと押してください。

5 「地域と言語」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

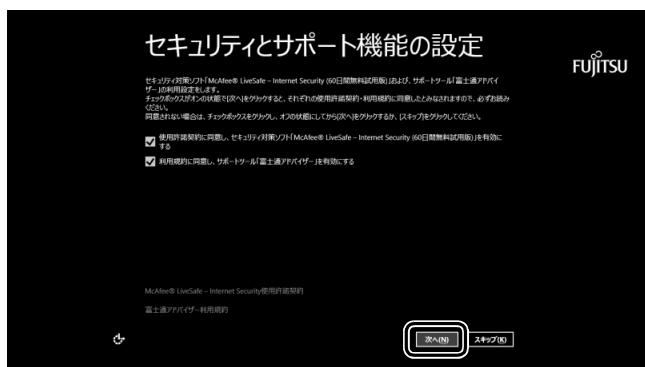


(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

6 「ライセンス条項」をよく読みます。読み終わったら「同意します」をクリックします。



7 セキュリティとサポート機能についての説明をよく読んで、「次へ」をクリックします。



8 パソコンにお好きな名前（PC名）を付けます。



① PC名を入力します。

例：「fmv1」という名前にする場合は、キーボードから [F]、[M]、[V]、[1] と入力します。

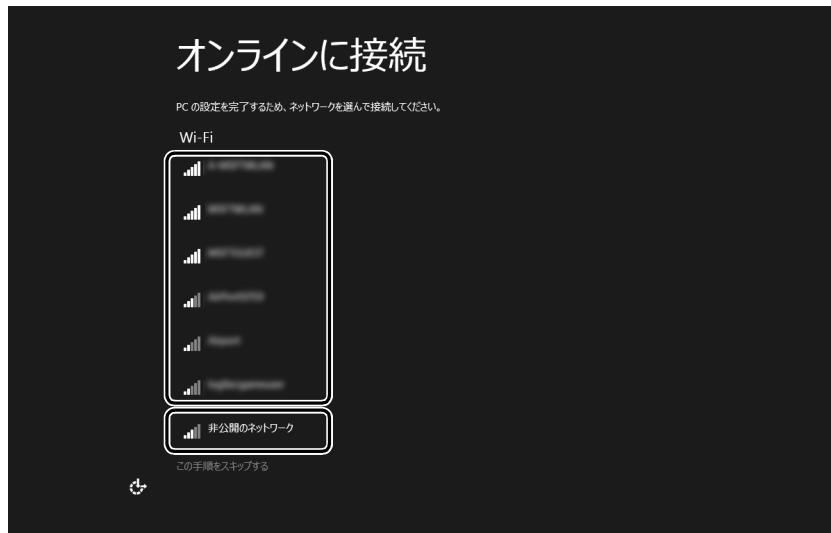
② 「次へ」をクリックします。

Point

- ▶ PC名は、12文字以内の半角英数字(a～z, A～Z, 0～9)でお好きな名前を入力してください。数字を使う場合は英字と組み合わせてください。

9 「セットアップを始める前のチェック」(→ P.17) で記入したネットワーク名 (SSID) をクリックします。

わからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



Point

- 有線 LAN を使う場合はネットワークが「接続済み」となっていることを確認し、「次へ」をクリックします。手順 11 に進んでください。



- セキュリティのためネットワーク名 (SSID) が表示されないように設定している場合は、「非公開のネットワーク」をクリックし、画面の表示に従って操作してください。

10 このネットワークのパスワードを入力します。

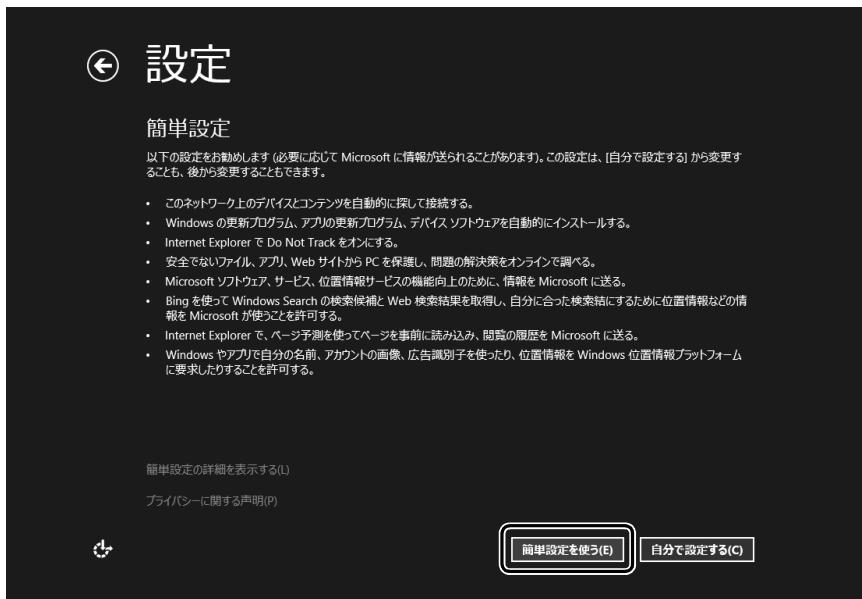


セットアップする

- ① 「セットアップを始める前のチェック」(→P.17)で記入したパスワードを入力します。
「ルーターのボタンを押しても接続できます。」と表示されいたら、無線LANアクセスポイント（ルーター）のボタンを押して接続できる場合があります。
詳しくは、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

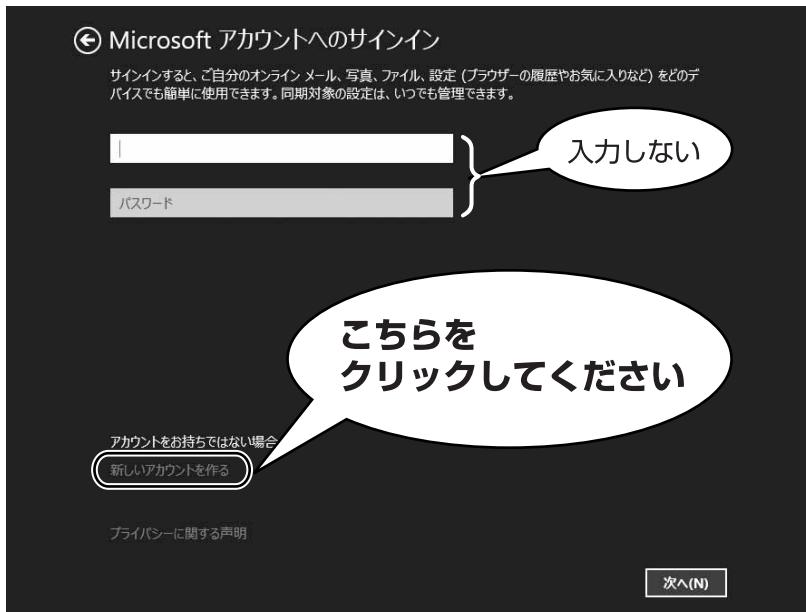
- ② 「次へ」をクリックします。

11 「簡単設定を使う」をクリックします。



12 「新しいアカウントを作る」をクリックします。

パソコンへサインインするための Microsoft アカウント（メールアドレス）を新規作成します。



Point

- 右のような画面が表示された場合は、「インターネットに接続せずにセットアップしたときは」(→ P.50) の手順に従って、セットアップを続けてください。



アカウント取得についてのお問い合わせ

手順 12～18 の Microsoft アカウントを取得する操作については、日本マイクロソフト株式会社のサーバーにインターネットで接続して行っています。本書と異なる画面が表示された場合など、ご不明な点は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

日本マイクロソフト株式会社 パーソナルサポート窓口

※お電話で問い合わせると、「マイクロソフト コミュニティ」のご利用を案内される場合があります。

電話番号：0120-54-2244

受付時間：月～金／9:30-12:00、13:00-19:00（土・日・祝祭日および指定休業日を除く）

マイクロソフト コミュニティ

URL：<http://answers.microsoft.com/ja-jp/>

13 新しくメールアドレスを作ります。

④ Microsoft アカウントの作成

普段使っているメール アドレスを利用できます。Xbox Live、Outlook.com、Windows Phone、または OneDrive を既にお使いの場合は、ここでそのアカウントを使うと、あらゆる情報をこの PC で利用できるようになります。

姓 (例: 田中) [] ①

名 (例: 太郎) []

メール アドレス [] ②
outlook.jp ▾
普段使っているメールを使う

パスワードの作成 [] ③

パスワードの再入力 []

国/地域 日本 ▾

Microsoft アカウントを使わずにサインインする

次へ(N) ④

① 姓・名を入力します。

② メールアドレスとして使いたい文字列を入力します。

半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) およびピリオド(.)、ハイフン(-)、下線(_)のみ使用できます。

③ パスワードを設定します。下段には設定したパスワードを再度入力してください。

【パスワードの作成例】

半角英字
↓
ab1-c23d4
↓
半角数字
↓
8 文字以上
↓
半角記号

安全性を高めるため、8 文字以上で、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) および半角記号を組み合わせて作成してください。

※ 例とまったく同じ文字をパスワードとして使わないでください。

④ 「次へ」をクリックします。

14 次の欄に手順13で作ったメールアドレスとパスワードを記入します。

メールアドレス
(Microsoftアカウント)

パスワード

@

パスワードは絶対に忘れないようにしてください。
サインインのときに毎回入力が必要です。

※参考しやすいよう本書の巻末にも記入欄を用意しています。
※第三者に漏れないように充分に注意して管理してください。

15 パスワードを忘れた場合のセキュリティ情報を入力します。

ここで入力した情報で、パスワードを再設定することができます。

「電話番号」と「連絡用メールアドレス」のどちらか1つは必ず入力してください。

① セキュリティ情報の追加

この情報は、アカウントをより安全に保ちながら、パスワードを復元できるようにする目的でのみ使用されます。

生年月日	①
性別	②
国コード	③
電話番号	④
連絡用メール アドレス	⑤

次へ(N)

① ▾をクリックし、生年月日を選択します。

② 性別を選択します。

③ 電話番号を入力します。固定電話と携帯電話（スマートフォンを含む）、どちらの番号も使用できます。

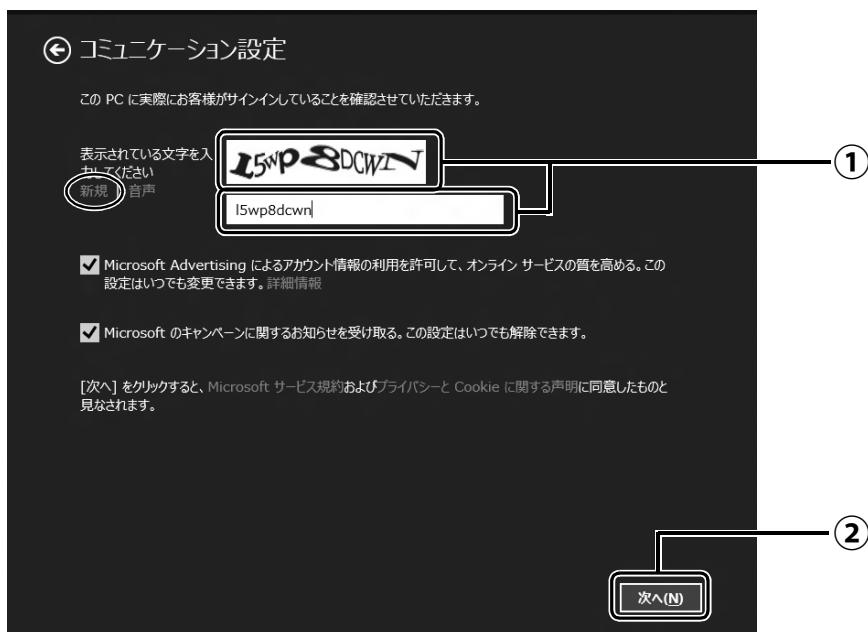
本人確認をするときに必要になります。すぐに応対できる電話番号を入力してください。

④ 以前から使用しているメールアドレスを入力します（携帯電話およびスマートフォンのメールアドレスを除く）。

本人確認をするときに必要になります。すぐに応対できるメールアドレスを入力してください。

⑤ 「次へ」をクリックします。

16 最終設定を行います。



① 画面に表示されている文字を入力します。

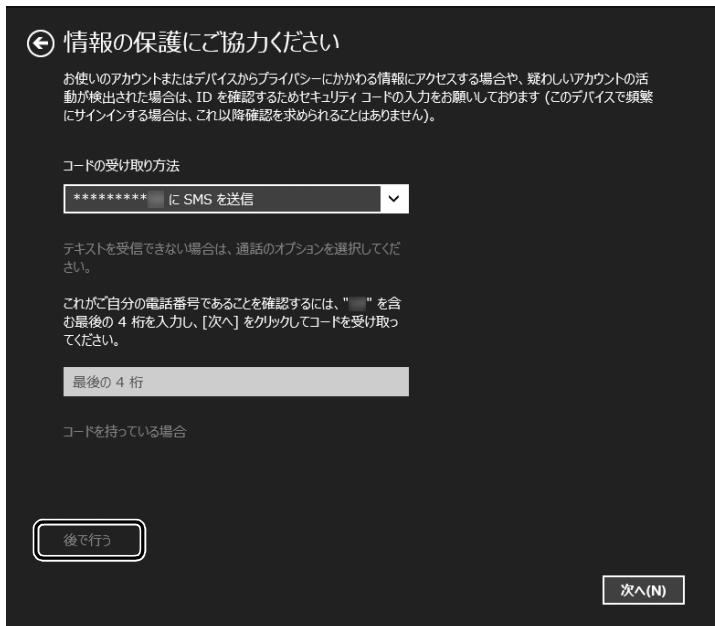
文字が読めない場合は「新規」をクリックします。新しい文字が表示されます。

② 「次へ」をクリックします。

Point

- ▶ 文字の入力を失敗した場合、「入力した文字が画面の文字と一致しません」というメッセージが表示され、新しい文字が表示されます。表示されている文字を再度入力してください。
- ▶ セキュリティ情報の入力に間違いがあった場合は、手順 15 に戻ります。入力内容を修正した後、手順 16 をやり直しになります。

17 「後で行う」をクリックします。



Point

▶ 「コードの受け取り方法」を選択し、電話番号の最後の 4 枠かメールアドレスを入力して、「次へ」をクリックした場合は、右の画面が表示され、選択した方法でコードが送られてきます。

送られてきたコードを入力し、「次へ」をクリックします。

電話が聞き取れなかったり、メールが受信できなかったりした場合は、(C) をクリックして手順 15 へ戻り、その場で応対できる電話番号またはメールアドレスに変更し、やり直してください。

(C) 受け取ったコードを入力してください

お使いのアカウントまたはデバイスからプライバシーにかかる情報へのアクセスがあった場合や、疑わしいアカウント活動が検出された場合は、ID を確認するためにセキュリティコードの入力をお願ひします（このデバイスで頻繁にサインインしている場合は、この場合もコードの入力をお願ひしません）。



18 OneDrive の説明が表示された場合は、「次へ」をクリックします。

画面が何度か変化します。

デスクトップ画面が表示されるまでお待ちください。



画面が何度か変化します



(デスクトップ画面)

19 デスクトップ画面が表示されたら、 を押して、スタート画面を表示します。

20 Windows を終了するため、スタート画面の右上にある をクリックし、表示されたメニューから「シャットダウン」をクリックします。セットアップを完了させるため、いったん Windows を終了させてください。

これで、Windows のセットアップが完了しました。

プロバイダーから提供されたメールアドレスなどでメールを使うには

Windows ストア アプリの「メール」ではお使いになれません。

「Outlook」、または「Windows Live メール」をお使いください。

使い方については、「富士通アドバイザー」の「メールの使い方」をご覧ください (→ P.31)。

「Outlook」について、ご不明な点がある場合は、次のお問い合わせ窓口をご利用ください。

日本マイクロソフト株式会社 技術サポート窓口

電話 : 0120-54-2244

受付時間 : 月～金／9:30～12:00、13:00～19:00、

土／10:00～17:00 (日・祝祭日および指定休業日を除く)

URL : <http://support.microsoft.com/contactus/>

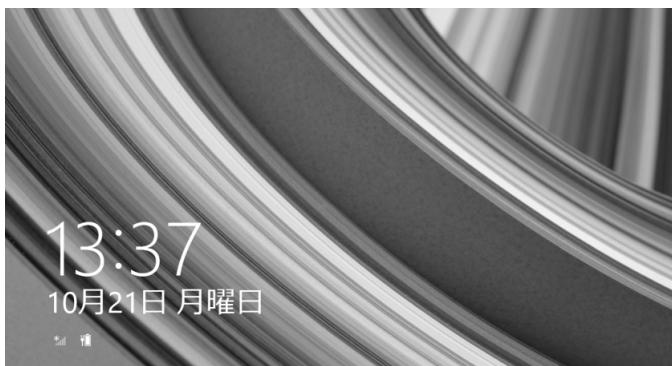
パソコンを快適にお使いいただくための準備をする

「富士通アドバイザー」の準備をする

「富士通アドバイザー」とは、『取扱説明書<詳細版>』を表示したり、パソコンを使うために知っておいていただきたい情報をお届けしたりするアプリです。

1 電源ボタン (○) をポチッと押します。

2 ロック画面が表示されたら、[Enter] を押します。



3 パスワードを入力し、➡をクリックします。

「Windows をセットアップする」の手順 14 で記入したパスワードです。

4 デスクトップ画面が表示されたら、[□] を押して、スタート画面を表示します。

5 スタート画面が表示されたら、「富士通アドバイザー」をクリックします。



6 「富士通アドバイザー」の画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、「同意する」をクリックします。

7 「富士通アドバイザーをバックグラウンドで実行しますか？」と表示されたら、「許可」をクリックします。

この後は、画面の指示に従って操作を進めます。

■ 次のお知らせは、できるだけ早くお読みください

● パソコンを最新の状態にする

Windows を最新の状態にします。

● Windows 8.1 の使い方

Windows 8.1 の基本操作や、スタート画面の使い方、パソコンの音量や画面の明るさの調整方法などをご紹介します。



▶ 「富士通アドバイザー」は、このほかにも、パソコンを快適にお使いいただくためのお知らせを配信します。定期的にご確認ください。

また、マニュアル（『取扱説明書＜詳細版＞』）とトラブル解決の事例などご覧になれます。必要に応じてご確認ください。

▶ 「富士通アドバイザー」は、パソコンだけでなく、スマートフォンでもご利用いただけます。

「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）をご利用いただくと、万が一、パソコンが起動しなかったり、インターネットに接続できなかったりする場合でも、サポート情報やマニュアルをご覧いただけます。

※ Android 4.0 以降を搭載したスマートフォンが必要です。

[ダウンロード手順]

1. 富士通アドバイザーアプリのダウンロードページを開きます。

<http://azby.fmworld.net/support/mycloudapps/download/#fjadviser>

2. Google play バナーをクリックして、アプリをダウンロードします。

※「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）の利用設定が必要です。



スマートフォンから



パソコンの使い方を初步から学んでみたいけれど、勉強のしかたがわからない、近くにパソコン教室がないなどでお悩みではありませんか。

富士通では、Windows 8.1 を新しく使い始めたお客様を対象に、プロの担当者が基本操作をレッスンする有償のサービスメニューをご用意しています。

お客様の予算や目的にあったサポートプランをご提案しますので、「PC つなげてレッスンに関するお問い合わせ窓口」までお電話ください。

PC つなげてレッスンに関するお問い合わせ窓口 (0120-994-499)

受付時間：平日 9 時から 17 時

※土・日・祝日、当社指定の休日を除く

※本サービスをご利用いただくには、ユーザー登録が必要となります。

<http://azby.fmworld.net/support/pclesson/>



「はじめに行う設定」で初期設定する

「はじめに行う設定」ウィンドウから、パソコンを快適にお使いになるために必要な初期設定を行ってください。

1 スタート画面で□を押して、デスクトップ画面を表示します。

デスクトップ画面に、「はじめに行う設定」ウィンドウが自動で表示されます。

2 「はじめに行う設定」ウィンドウに表示される項目をすべて実行します。



(機種により表示されない項目もあります)

- ①「表示」をクリックすると、「重要なお知らせ」という画面が表示されますので、よくお読みください。画面を閉じるときは、画面の上から下までドラッグしてください。
- ②「登録画面を表示」をクリックすると、「はじめに行う設定 - ユーザー登録をする」ウィンドウが表示されます。「パソコンの情報を送信する（推奨）」をクリックしてください。インターネットのユーザ登録専用ホームページが表示されます。ユーザ登録については、「ユーザー登録のご案内」(→ P.41) をご覧ください。
- ③「実行」をクリックすると、各アプリが起動するので初期設定してください。実行した項目は、左側のアイコンが「対応済」に変わります。

すべての項目を実行した場合は、パソコンを再起動したときに、「はじめに行う設定」ウィンドウが表示されなくなります。

Point

- ▶ 富士通からの「重要なお知らせ」を再度確認したい場合は、スタート画面左下の❬ 下 arrow ❭ をクリックし、「はじめに行う設定」をクリックしてください。
- ❬ 下 arrow ❭ が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。
- 『Windows 8.1 基本操作クリックガイド』

すべての項目を実行するとセットアップは完了です。

困ったときは

メールや Office で困ったときは

「Outlook」（メールアプリ）や「Word」、「Excel」などのOfficeの製品については、アプリ提供元の日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

<p>オフィス ホーム ビジネス Office Home & Business Premium オフィス パーソナル Office Personal Premium ・ Microsoft Excel 2013 　　マイクロソフト エクセル ・ Microsoft OneNote 2013 　　マイクロソフト ワンノート ・ Microsoft Outlook 2013 　　マイクロソフト アウトルック ・ Microsoft PowerPoint 2013 　　マイクロソフト パワーポイント ・ Microsoft Word 2013 　　マイクロソフト ワード ・ Microsoft PowerPoint 2013 楽し もう フォト ウィザード</p>	<p>日本マイクロソフト株式会社 技術サポート窓口 電話：0120-54-2244 受付時間：月～金／9:30～12:00、13:00～19:00、 土・日／10:00～17:00（日曜はインストール サポートのみ） URL：http://support.microsoft.com/contactus/</p>
--	---

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

ウイルス対策アプリなどで困ったときは

マカフィー リブセーフのお問い合わせ先

マカフィー リブセーフ	マカフィー株式会社 URL : http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/ ①テクニカルサポートセンター インストール方法、製品削除など技術に関するお問い合わせ窓口 電話 : 0570-060-033 (携帯電話からの場合 : 03-5428-2279) 受付時間 : 9:00 ~ 21:00 (年中無休) お問い合わせフォーム : http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/tspc_email.asp ②カスタマーサービスセンター ご契約の更新、ご契約期間の確認など、ご契約に関するお問い合わせ窓口 電話 : 0570-030-088 (携帯電話からの場合 : 03-5428-1792) 受付時間 : 9:00 ~ 17:00 (祝祭日を除く) お問い合わせフォーム : http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_email.asp 60日間の試用期間中、サポートいたします。
-------------	--

その他のアプリは、『取扱説明書<詳細版>』の「その他のアプリのお問い合わせ先」をご覧ください。

アプリのお問い合わせ先の確認方法

本書に記載されていないアプリのお問い合わせ先は、「@メニュー」で確認することもできます。

- 1 スタート画面で「@メニュー」をクリックします。
- 2 アプリを探し、お問い合わせ先を表示します。



(画面は機種や状況により異なります)

- ① カテゴリを選択します。
- ② ジャンルを選択します。
- ③ 「目的でさがす」をクリックし、やりたいことを選択します。
- ④ 「お問い合わせ先」をクリックします。

よくあるトラブルと解決方法

トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください

- 使用する装置（パソコンや周辺機器）の電源はすべて入っていますか？
- ケーブル類は正しいコネクタに接続されていますか？また、ゆるんだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありませんか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
- パソコンを再起動するとトラブルが解消される場合があります。パソコンの操作が可能なときは、次の手順で再起動してください。
 1. スタート画面の右上にある  をクリックします。
 2. 表示されたメニューから「再起動」を選択します。

起動・終了時のトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源ケーブルや AC アダプタが正しく接続されていない	電源ケーブルや AC アダプタが正しく接続されているか確認してください（→ P.18）。
	バッテリ残量が少ない	ACアダプタを接続し、バッテリを充電してください。
	バッテリパックを交換した場合に正しく取り付けられていない	バッテリパックが正しく取り付けられているか確認してください。 詳しくは、  『取扱説明書<詳細版>』の「バッテリ」をご覧ください。
	上記の対処で解決しない	AC アダプタと内蔵バッテリパックをいったん取り外し、2~3分放置後、再び取り付けてください。
電源ランプが点滅し、Windows が起動しない	メモリを増設または交換した場合にメモリが正しく取り付けられていない	メモリが正しく取り付けられているか確認してください。 詳しくは、  『取扱説明書<詳細版>』の「メモリの交換方法」をご覧ください。
	メモリを増設または交換した場合にサポートしていないメモリを取り付けている	取り付けたメモリがこのパソコンでサポートされているか確認してください。 詳しくは、  『取扱説明書<詳細版>』の「メモリ」の「必要なものを用意する」をご覧ください。
画面に何も表示されない	外部ディスプレイのみに表示する設定になっている	 +  または  +  を押して、表示先を切り替えてください。
	画面が暗すぎる	 +  を押して、画面を明るくしてください。
	ディスプレイのバックライトが消灯している	何かキーを押してください。
	スリープや休止状態になっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れ直してください。 なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

症状	考えられる原因	対処方法
Windows が起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧になり、正しく取り付けられているか確認してください。
	上記の対処で解決しない	ハードウェアの診断を行ってください（→ P.38）。
電源が切れない	Windows が動いていない	次の手順で Windows を終了させてください。 ハードディスクが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1. [Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押す。 2. 画面右下の U をクリックして表示されるメニューで「シャットダウン」を選択する。
	フラットポイントやマウスが使えない	次の手順で、Windows を終了させてください。 1. [Windows] + [C] を押す。 2. カーソルキーで「設定」を選択して [Enter] を押す。 3. カーソルキーで U を選択して [Enter] を押す。 4. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して [Enter] を押す。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切ってください。 なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

Point

- このパソコンには、Windows が起動しなくなったとき、C ドライブにあるお客様のデータファイル（ドキュメントや画像など）を D ドライブにコピーする「かんたんバックアップレスキュー Light」が搭載されています。
お使いになるには、「トラブル解決ナビ」を起動し（→ P.39）、「ユーティリティ」の「かんたんバックアップレスキュー Light」をクリックしてください。なお、操作については、表示された「必ずお読みください」をご覧ください。

ディスプレイのトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
画面に何も表示されない	「起動・終了時のトラブル」の「画面に何も表示されない」の項目をご覧ください（→ P.36）。	
画面が急に表示されなくなった	パソコンが磁気に反応し、スリープや休止状態になった	磁気の発生するものを遠ざけ、電源ボタンを押してください。

ここまでで確認でトラブルが解決しない場合

次の手順で表示される説明をご覧ください。

1 [□] を押して、スタート画面を表示します。

2 「富士通アドバイザー」をクリックします。

「富士通アドバイザー」の画面が表示された場合は、内容をよくお読みになり、「同意する」をクリックします。

また、「富士通アドバイザーをバックグラウンドで実行しますか?」と表示された場合は、「許可」をクリックします。

3 「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」をクリックします。

インターネットに接続して上記の操作を行うと、表示される内容が最新の状態に更新されます。

「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

Windows が起動しなくなったときに、このパソコンのハードウェア (CPU、メモリ、ディスプレイ、ハードディスク、CD/DVD ドライブ) に問題がないか診断します。

●「トラブル解決ナビ」から起動できます。

●パソコン本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。

●診断したいハードウェアを選択できます。

●診断時間は 5 ~ 20 分程度です。

■「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する

1 「トラブル解決ナビ」を起動し (→ P.39)、「診断ツール」▶「富士通ハードウェア診断ツール」の順にクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「情報」 ウィンドウが表示されます。

2 表示された注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。

「情報」 ウィンドウが閉じます。

3 診断したいアイコンにチェックが入っていることを確認し、「実行」をクリックします。

ハードウェア診断が始まります。

診断時間は通常 5 ~ 20 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。

Point

▶「CD/DVD/BD(E:) ドライブにCD-ROMまたはDVD-ROM をセットしてください。」などと表示された場合は、お手持ちの CD や DVD をセットして「診断開始」をクリックしてください。ただし、データが書き込まれていないディスクや、コピーガードされたメディア (映画などの DVD、およびコピーコントロール CD など) は使用できません。

▶診断を取りやめる場合は「キャンセル」をクリックしてください。

4 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

■エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

■問題がない場合

診断後、「パソコンを以前の状態に戻す」(→ P.39) に進んでください。

5 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

6 「終了」をクリックします。

「終了」 ウィンドウが表示されます。

7 「はい」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」 ウィンドウに戻ります。

8 「終了」▶「シャットダウン」の順にクリックします。パソコンの電源が切れます。

Point

▶ Windows が起動しなくなったときは、起動メニューから起動できる「診断プログラム」を使用してもハードウェアの障害箇所を診断できます。診断時間は通常 5 ~ 20 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

1. BIOS の設定をご購入時の状態に戻します。
2. パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
3. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

4. **[F12]** を押しながら、パソコンの電源ボタンを押します。
 5. 短いビープ音が鳴ったら、**[F12]** から指を離します。
起動メニューが表示されます。
 6. キーボードの **[Tab]** を押し、画面を切り替えます。
 7. メニューが表示されたら、**[↓]** を押して、「診断プログラム」または「Diagnostic Program」を選択し、**[Enter]** を押します。
 8. 「診断プログラムを実行しますか?」または「Do you want to continue?」と表示されたら、**[Y]** を押してハードウェア診断を開始します。
ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます（お使いの機種によっては、いったんパソコンが再起動した後で診断結果が表示されます）。
- ・診断後にエラーコードが表示された場合は、メモしておき、サポートの窓口に伝えてください。
 - ・トラブルが検出されなかった場合
[Enter] を押してください。「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「情報」ウィンドウが表示されます。
この後の操作については、「「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する」（→ P.38）をご覧ください。
 - ・トラブルが検出された場合
画面に表示された内容をメモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、**[Y]** を押してパソコンの電源を切ってください。

パソコンを以前の状態に戻す

ハードウェアに問題がなく、マニュアルやインターネットのQ&Aでも解決できなかった場合は、パソコンが問題なく動作していた時点の状態に戻す、という解決方法があります。

ただし、この解決方法は、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまうなど、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

本当に必要かどうか再度確認してください。

どうしても必要な場合は、注意事項を必ず確認したうえで行ってください。

このパソコンでは2つのやり方でパソコンを以前の状態に戻すことができます。

●「バックアップナビ」で「パソコンの状態」を復元する
詳しくは、『取扱説明書＜詳細版＞』の「バックアップ」をご覧ください。

「パソコンの状態」のバックアップを作成している場合、バックアップを作成した時点に戻すことができます。

バックアップ後に行った設定や作成したデータなどは削除されます。

●ご購入時の状態に戻す

詳しくは、「ご購入時の状態に戻す」（→ P.46）をご覧ください。

「パソコンの状態」のバックアップを作成していない場合は、ハードディスクの「リカバリ領域」のデータを使用し、ご購入時の状態に戻します。

ご購入時の状態に戻るため、再度セットアップが必要です。現在お使いの状態に戻すには、アプリをインストールしたり、データを復元したりなど大変手間がかかります。

「トラブル解決ナビ」を起動する

■ハードディスクから起動する

- 1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
- 2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.53）。
- 3 **[F12]** を押しながら、パソコンの電源ボタンを押します。
- 4 短いビープ音が鳴ったら、**[F12]** から指を離します。

Point

▶ Windowsが起動してしまった場合は、手順2から操作をやり直してください。

- 5 キーボードの **[Tab]** を押し、画面を切り替えます。
- 6 メニューが表示されたら、**[↓]** を押し、「トラブル解決ナビ」または「Recovery and Utility」を選択して、**[Enter]** を押します。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」から起動する

◎「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」または◎「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク」から「トラブル解決ナビ」を起動する方法です。パソコンを廃棄するときやリカバリ領域の削除／復元をするときなど、特別な操作をするときだけ行います。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→P.53）。

3 [F2] を押しながら、パソコンの電源ボタンを押します。

4 短いビープ音が鳴ったら、[F2] から指を離します。起動メニューが表示されます。

「アプリケーションメニュー」または「Application Menu」が表示された場合は、[Tab] を押して「起動メニュー」または「Boot Menu」に切り替えます。

5 ◎「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」または◎「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク」をセットします。

認識されるまで 30 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

ディスクをセットする方法については、『取扱説明書＜詳細版＞』の「ディスクをパソコンにセットする／取り出す」をご覧ください。

6 [↓] を押して「CD/DVD」や「CD/DVD Drive」などを選択し、[Enter] を押します。

Point

▶ 「CD/DVD の起動モードを選択してください。」または「Please select CD/DVD boot mode:」という画面が表示された場合は、「UEFI モードで起動」または「UEFI Mode」を選択し、[Enter] を押します。

7 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

8 「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビ」が起動しない場合の解決方法

「トラブル解決ナビ」が表示されない場合は、次のように対処してください。

● BIOS の設定をご購入時の状態に戻すと解決する場合があります（→ P.40）。

● 市販のアプリや、Windows の「ディスクの管理」で領域設定を変更している場合は、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を実行してください。

詳しくは、『取扱説明書＜詳細版＞』の「ハードディスクの領域について」をご覧ください。

□ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→P.53）。

3 [F2] を押しながら、パソコンの電源ボタンを押します。

4 短いビープ音が鳴ったら、[F2] から指を離します。BIOS の画面が表示されます。

Point

▶ Windowsが起動してしまった場合は、手順2から操作をやり直してください。

▶ BIOS の画面が表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待った後、手順 3 から操作をやり直してください。

5 [Esc]、[←]、[↑]、または[↓] で「終了」または「Exit」メニュー▶「標準設定値を読み込む」または「Load Setup Defaults」の順に選んで[Enter] を押します。

6 「はい」または「Yes」を選んで[Enter] を押します。

7 「変更を保存して終了する」または「Exit Saving Changes」を選んで[Enter] を押します。

8 「はい」または「Yes」を選んで[Enter] を押します。

BIOS セットアップについて詳しくは、『取扱説明書＜詳細版＞』の「BIOS の設定」をご覧ください。

富士通の窓口に相談する

ユーザー登録のご案内

■ユーザー登録とは

ご購入されたパソコンとお客様の情報を、富士通に登録していただくことです（入会費・年会費無料）。ユーザー登録をすると、1年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます。

重要

- ▶ ご登録いただける住所は、日本国内のみとなります。

■ユーザー登録をする

ここではインターネットでユーザー登録する方法を説明します。操作できない場合など、ユーザー登録に関するお問い合わせは、「お問い合わせ窓口のご紹介」（→P.42）の「電話で相談する」をご覧ください。

□必要なものを用意してください

●保証書

製品の情報を確認するときに必要になります。
登録後も大切に保管してください。



保証開始日

Point

- ▶ 保証開始日に初めて電源を入れた日を記入してください。
保証開始日は「@メニュー」から確認できます。
「安心・サポート」▶「トラブル診断」▶「目的でがす」▶「パソコンの情報を表示する」の順にクリックし、「パソコンの情報」が表示されたら「実行する」をクリックしてください。

●筆記用具

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを本マニュアルに控えていただくときに必要になります。

□ユーザー登録方法

セットアップ後に表示された「はじめに行う設定」の「ユーザー登録を表示」のリンクをクリックすると、インターネットのユーザー登録専用ホームページが表示されます。

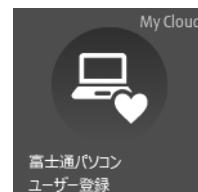
- 1 画面上の説明をお読みになり、手続きを行ってください。

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを、次の欄に記入して、大切に保管してください。
記入後は第三者に漏れないよう注意してください。



Point

- ▶ ユーザー登録専用ホームページを表示するにはインターネットに接続する必要があります。
- ▶ ユーザー登録にはメールアドレスが必要です。
- ▶ スタート画面で「富士通パソコンユーザー登録」をクリックしてもユーザー登録専用ホームページを表示することができます。



サポート&サービス紹介

富士通のパソコンをより楽しく快適に利用いただくために、インターネット上のサポートページやサービスをご用意しております。

■お問い合わせ窓口のご紹介

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

お客様に合わせた様々な方法でお問い合わせができます。

メール

Twitter

ネットで故障診断

電話予約

電話

が、ご利用できます。

技術相談も、修理相談もワンストップで解決！より便利に簡単にご利用できる窓口になりました。

富士通FMVサポートページ <http://azby.fmworld.net/support/> ※最新の情報はホームページをご覧ください。



“メール”で相談する

メール

ホームページ上の専用の質問フォームから送信いただいたFMVに関するお問い合わせを受け付け、Eメールで回答いたします。
Q&A・パソコン活用情報を検索後にお問い合わせいただけます。

① Q&Aで調べる

② 質問フォームに入力する

③ メールで回答

各Q&Aページの下の方に質問フォームを表示するボタンがあります。

Q&Aで問題が解決しないときは、下記の方法もお試しください。



詳しい人に聞く
-OKCorporation-



メールサポートを利用する



サポートコールを利用する

*ユーザー登録が必要となります。

パソコン スマートフォン

パソコン スマートフォン



“インターネットで故障を診断”する

ネットで故障診断

画面にしたがって状況を確認したり設定を変更したりするだけでトラブルを診断し、解決方法をアドバイスします。

故障と診断された場合は、その場で修理申し込みができます。

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>



パソコン スマートフォン

電話予約

電話

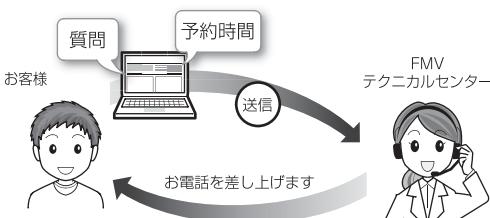
“電話”で相談する

※ご利用料金に関しては、次ページの「ご利用料金とお支払いについて」をご覧ください。

電話相談の“予約”をする

お客様がホームページより予約された時間帯に、FMVテクニカルセンターのサポート担当者からお電話を差し上げ、ご予約の際に入力されたご質問にお答えします。

<https://azby.fmworld.net/callback/>



*ユーザー登録が必要となります。

*富士通からお電話をかける連絡先は、日本国内に限らせていただきます。
また日本語対応のみとなります。

パソコン スマートフォン

お困りごとのご相談はこちら

通話料無料 0120-950-222

受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら 045-514-2255
(通話料金お客様負担)

受付時間：9:00～17:00

修理受付はこちら

通話料無料 0120-926-220

受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら 045-514-2260
(通話料金お客様負担)

受付時間：9:00～17:00

注：受付時間は窓口によって異なります。ガイドラインに従ってご利用ください。
※電話番号はお間違えのないように、十分ご確認のうえおかけください。
※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※音声ガイダンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
※ユーザー登録されている電話番号をお客様の発信番号が一致した場合には、ユーザー登録番号の入力が省略できます。
※通知設定による発信や、ユーザー登録されている番号と異なる発信番号等、一部ユーザー登録情報の確認ができない場合は、音声ガイダンスの指示に従ってユーザー登録番号を入力してください。

□ご利用料金とお支払いについて

●ご利用料金

- ・パソコン本体に初めて電源を入れた日（保証開始日）から、**1年間無料**でご利用いただけます。[注]

注：Refreshed PCに関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり2,060円（税込）となります。
また、受付時間は月～金曜日（祝日を除く）9時～17時となります。

・2年目以降

お問い合わせ1件あたり2,060円（税込）

※ My CloudカードまたはAzbyClubカードでお支払いの場合は、1,540円/件（税込）でご利用いただけます。My CloudカードおよびAzbyClubカードについて詳しくは、(<http://azby.fmworld.net/members/mycloudcard/>)をご覧ください。

※ プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。

Point

▶ お問い合わせ1件は、お電話の回数ではなく、技術相談1項目ごとに1件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません。（ただし14日以内に限ります）

●お支払い方法

お支払い方法は、音声ガイダンスに従って、次のいずれかを選択してください。

クレジットカード支払い	音声ガイダンスで、クレジットカード番号、有効期限の入力をお願いします。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、手数料が別途210円かかります。

□お問い合わせ前に確認してください

●「サポートページ」(<http://azby.fmworld.net/support/>)で解決方法を確認しましたか？

知りたい情報やトラブル解決方法をお調べいただけます。

●ユーザー登録はしましたか？

電話サポートの利用にはユーザー登録が必要です。
ユーザー登録方法は「ユーザー登録のご案内」(→P.41)をご覧ください。

●アプリのお問い合わせ先を確認しましたか？

各アプリ提供会社のお問い合わせ先は、「メールやOfficeで困ったときは」(→P.34)および「ウイルス対策アプリなどで困ったときは」(→P.35)をご覧ください。

●お使いのパソコンをお手元にご用意いただけますか？

お電話中に操作を行っていただく場合がございますので、お手元にご用意ください。

●データのバックアップはしましたか？

大切なデータの予備を保存しておくと、安心です。
バックアップ方法については、『取扱説明書<詳細版>』の「バックアップ」をご覧ください。

■修理を申し込む前の準備

●故障かどうかをもう一度ご確認ください

パソコンのトラブルは、設定の誤りなど、故障以外が原因のこともあります。実際に「故障や修理に関する受付窓口」へのお電話の半数以上は、パソコンの故障ではなく、設定を変更することで問題が解決しています。

「ネットで故障診断」(<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>)で、本当にパソコンが故障しているか確認してください。

●修理規定をご確認ください

お申し込み前に必ず「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→P.56)を確認のうえ、同意をお願いします。

●修理料金の目安を確認できます

ホームページで概算修理料金をご覧ください。
<http://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html>

●保証書をお手元にご用意ください

保証期間は、初めてパソコン本体の電源を入れた日（保証開始日）から1年間となります。保証期間内は無料で修理させていただきます。

ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。

Point

- ▶ 保証開始日は「@メニュー」から確認できます。「安心・サポート」▶「トラブル診断」▶「目的でさがす」▶「パソコンの情報を表示する」の順にクリックし、「パソコンの情報」が表示されたら「実行する」をクリックしてください。

●故障品をお手元にご用意ください

お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。

●データのバックアップをおとりください

修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置（ハードディスクなど）内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身でDVDなどのディスクや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

バックアップの方法については、『取扱説明書<詳細版>』の「バックアップ」をご覧ください。また、パソコンの故障などによりお客様がバックアップできない場合には、「PC データ復旧サービス」（有料）もご利用いただけます。

PCデータ復旧サービス(有料)

<http://azby.fmworld.net/datarescue/>

■修理の申し込み

パソコンの修理は、ホームページまたは電話でお申し込みください。

□ホームページで申し込む（ネットで故障診断）

「ネットで故障診断」では、パソコンが故障しているかどうかを調べることができます。

故障と診断された場合は、ホームページから修理を申し込むことができます。

ネットで故障診断

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

□電話で申し込む

「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.42）の「修理受付はこちら」をご覧ください。

重要

- ▶ 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- ▶ 修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」（→ P.56）の第13条（個人情報の取り扱い）をご覧ください。

■お引き取りとお届け（パソコン修理便）

弊社指定の宅配業者がご自宅へパソコンをお引き取りに伺います。

お引き取りから修理・お届けまで約7日間です（土・日・祝日を含む）。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。
また、離島の場合は船便のための日数がかかります。

□お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降、弊社設定の時間帯（9:00～21:00[注]）で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情などにより指定日時にお伺いできない場合があります。

□お引き取りについて

宅配業者が指定日時にご自宅へ伺います。

梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

重要

- ▶ 次の各種パスワードは事前に解除してください。確認のために修理作業が中断し、修理に時間がかかる場合があります。

- ・ BIOS パスワード
- ・ ハードディスクパスワード

●保証書を用意してください（保証期間中の場合）。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。

●宅配業者がお渡しする「お預かり伝票」を大切に保管してください。

●お引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。

●「修理状況確認サービス」
(<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>)
で携帯電話やスマートフォン、パソコンのメールアドレスをご登録ください。故障品の当社への到着、お見積り発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをメールでお知らせします。

□お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

●修理料金について

- ・保証期間内（保証開始日より1年間）：無料（保証書記載の「無料修理規定」による）
 - ・保証期間外：有料（修理にかかる部品代、技術料等）
- ※ 交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。

■修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。

□ホームページで確認する（修理状況確認サービス）
パソコン、スマートフォン、携帯電話（iモード、Ezweb、Yahoo! ケータイ）で「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8桁の番号）を入力して、修理状況を確認できます。

修理状況確認サービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話から
<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>

バーコード読み取り機能付きのスマートフォンや携帯電話では、右のバーコードからアクセスいただけます。



※ 携帯電話、スマートフォンの操作方法については、お使いの機種のメーカーにお問い合わせください。

□電話で確認する

音声ガイダンスに従ってダイヤルを押してください。「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8桁の番号）と、修理お申し込み時にご登録されたお電話番号を入力してください。

富士通修理お問い合わせダイヤル

キューニーロク ニーニーマル
0120-926-220

➡➡ダイヤル **3** をプッシュ

📞 通話料無料 / 受付時間：24時間365日

携帯電話、PHS、海外からはこちら

ゴーアチヨン ニーニーロクマル
045-514-2260

（通話料金お客様負担）

受付時間：9:00～17:00

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

ご購入時の状態に戻す

ご購入時の状態に戻すリカバリとは

リカバリとは、パソコンを以前の状態に戻す操作です。

「よくあるトラブルと解決方法」(→ P.36)と「富士通アドバイザー」のトラブル解決をご覧になり、すべて対処しても解決しなかった場合のみ行います。

ここではCドライブをご購入時の状態に戻すリカバリについて説明します。

●ご購入時の状態に戻すリカバリの仕組み

Cドライブをご購入時の状態に戻すリカバリは、ハードディスクの「リカバリ領域」という場所に保存されているデータを使用します。

「リカバリ領域」のデータでCドライブをまるごと上書きします。

Point

- ▶ 「リカバリ領域」を削除している場合や「リカバリ領域」が破損してしまった場合にのみ、「リカバリディスクセット」を使用してリカバリします。詳しくは「ディスクが必要な場合」(→P.47)をご覧ください。

●現在のCドライブのデータについて

Cドライブをまるごとご購入時の状態にするため、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまいます。そのためリカバリ後には、セットアップを行ったり、必要に応じてアプリをインストールしたり、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

重要

- ▶ リカバリする場合は必ず、バックアップをとつてください。

ご購入時の状態に戻すリカバリの準備

ご購入時の状態に戻すリカバリの注意

■必ずバックアップをとってください

リカバリを行うと、Cドライブのデータはすべて削除されます。

必要なデータはバックアップしてください。

- Windowsが起動できるときは、『取扱説明書<詳細版>』の「バックアップ」をご覧ください。

- Windowsが起動できないときは、「かんたんバックアップレスキューLight」でバックアップできる場合があります(→P.36)。

■外付けハードディスクやUSBメモリは必ず取り外してください

リカバリを行う前に必ず取り外してください。接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■キーボード、マウス以外の周辺機器(プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI入力/出力端子、USBコネクタに接続しているすべての周辺機器)は取り外してください

セットしたExpressCardなどもすべて取り外してください。アンテナケーブルやLANケーブルなどもすべて抜いてください。接続したままだとマニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。マウスも取り外してください。

ワイヤレスマウスをお使いの場合は、ワイヤレスマウスの底面の電源スイッチをOFF側にして電源を切ってください。

■メモリーカードは取り出してください

メモリーカードをセットしていると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、リカバリが正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリ実行からアプリのインストール終了まで、早く終了する機種でも2~3時間はかかります。半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

■必ずACアダプタを接続してください

作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった

画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。

フラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの
↑ ↓ ← → や [Shift] を押してください。

それでも復帰しない場合は、電源ボタンをポチッと押してください。

■電源が切れない

電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ディスクが必要な場合

●リカバリ領域を削除している場合、リカバリ領域が破損してしまった場合は、「リカバリディスクセット」が必要です

●ディスクがない場合や破損してしまった場合、弊社のホームページから購入できます

「リカバリディスク有償サービス」

<http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/>
ただし、Webカスタムメイドモデルの「リカバリディスクセット」は電話で申し込んで購入してください。

「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
0120-950-222（通話料無料）

●CD/DVDドライブが搭載されていない機種でディスクを使ってリカバリする場合、ポータブルCD/DVDドライブを用意してください

- ・ポータブルCD/DVDドライブは、「スーパーマルチドライブユニット(FMV-NSM54)」をお勧めします。

- ・リカバリを開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。

●「リカバリディスクセット」はハードディスク全体をリカバリする場合などにも使用します。詳しくは『取扱説明書<詳細版>』の「ハードディスクの領域について」の「リカバリ領域を復元する」をご覧ください。

ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する

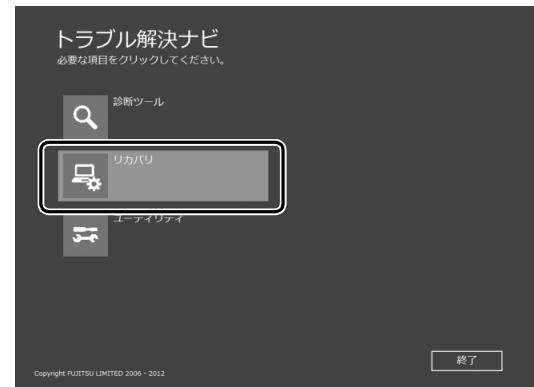
準備ができたらリカバリを実行します。ハードディスクのCドライブの内容がいったんすべて消去され、リカバリ領域（または「リカバリディスクセット」）からWindowsやアプリがインストールされてご購入時の状態に戻ります。

Cドライブを初期状態に戻す

1 「トラブル解決ナビ」を起動します。

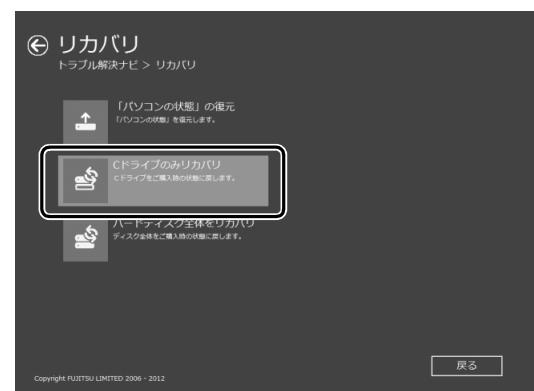
「「トラブル解決ナビ」を起動する」(→P.39)をご覧ください。

2 「リカバリ」をクリックします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります。)

3 「Cドライブのみリカバリ」をクリックします。



4 「次へ」をクリックします。



5 「ご使用上の注意」の内容を確認し、次の画面の操作をします。



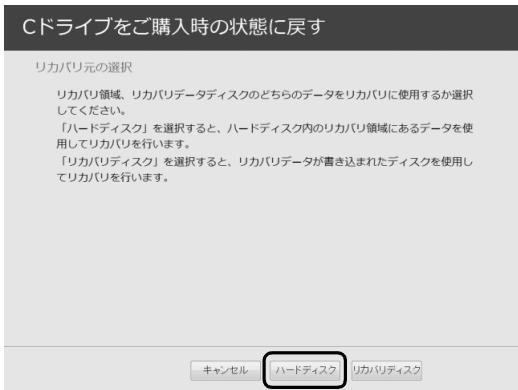
①「ご使用上の注意」を下までスクロールして確認します。

「同意する」が選択できるようになります。

②「同意する」をクリックして①にします。

③「次へ」をクリックします。

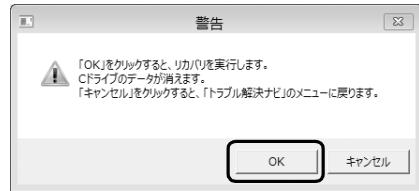
6 「ハードディスク」をクリックします。



Point

- ▶ ハードディスクにリカバリデータがない場合など、リカバリディスクセットを使用してリカバリする場合、「リカバリディスク」をクリックしてください。ディスクを用意し、画面の指示に従って操作してください。

7 警告画面で、「OK」をクリックします。



復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。

リカバリ途中で計算し直しているため、終了までのパーセンテージは正確に表示されない場合や増える場合があります。

8 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「ディスクの復元が完了しました。」と表示されます。

9 「完了」をクリックします。

パソコンの電源が自動的に切れます。

Windows のセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。「セットアップする」(→ P.17) をご覧になり、セットアップしてください。

なお、電源は 30 秒以上待ってから入れてください。

Point

- ▶ 「リカバリディスク有償サービス」で購入したりカバリディスクセットを使い、ご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合、「地域と言語」の画面が表示されるまで 30 分以上かかることがあります。ご了承ください。

■セットアップ時の注意事項

- ユーザー登録は再度行う必要はありません。
- すでに Microsoft アカウントを取得されているため、「Windows のセットアップをする」の手順 12 では Microsoft アカウントを入力し、「次へ」をクリックしてください。その後は画面の指示に従って操作してください。

Point

- ▶ Office搭載機種で、「リカバリディスク有償サービス」で購入したリカバリディスクセットを使い、ご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合、Office がインストールされた状態にリカバリされません。
セットアップ後に、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。
インストール方法については次のホームページをご覧ください。
<http://www.office.com/jppipcsetup/>

付録

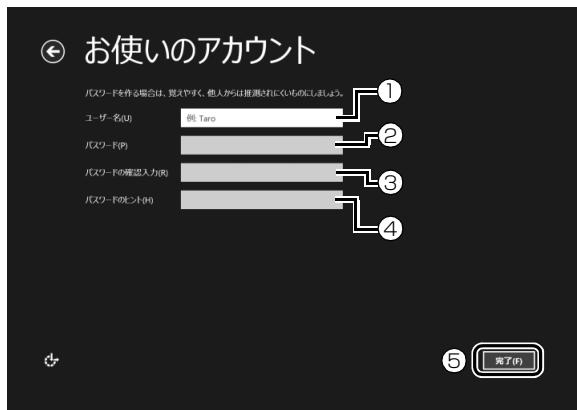
インターネットに接続せずにセットアップしたときは

ここでは、セットアップ中にインターネットに接続しなかった場合、どのようにセットアップを完了したら良いか説明します。操作の流れは次のようになります。

- 1 Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する (→ P.50)
- 2 インターネットに接続する (→ P.50)
- 3 Microsoft アカウントに切り替える (→ P.52)
- 4 Windows を終了する
「Windows のセットアップをする」手順 20 (→ P.30)
- 5 パソコンを快適にお使いいただくための準備をする (→ P.31)

Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する

「Windows のセットアップをする」の手順 12 で次のような画面が表示された場合の操作方法です。



①「ユーザー名」を入力します。

- ・「Windows のセットアップをする」の手順 8 で入力した PC 名と同じ名前は入力できません。
- ・12 文字以内の半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) でお好きな名前を入力してください。

②「パスワード」を入力します。

- 12 文字以内の半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) でお好きなパスワードを入力してください。

③④で入力したものと同じものを入力します。

④自分がパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。かなも漢字も使用できます。

⑤「完了」をクリックします。

Windows のセットアップが完了しました。

デスクトップ画面が表示されるまでお待ちください。

インターネットに接続する

このパソコンをお使いになるときは、有線 LAN または無線 LAN でインターネットに接続してください。

インターネットの設定方法については、ご契約のプロバイダーの指示に従ってください。

Point

- ▶ データ通信カードやアダプター、モバイルWi-Fiルーターなどのデータ通信機器をお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ▶ データ通信機器に関しては、ご契約のデータ通信サービス会社にお問い合わせください。

■有線 LAN でインターネットに接続する

有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルを LAN コネクタに接続します。

■無線 LAN でインターネットに接続する

ここでは、無線 LAN アクセスポイントと内蔵無線 LAN を使って、無線 LAN でインターネットに接続する方法を説明します。

重要

- ▶ パソコンを屋外で使う場合、電波法の定めにより 5GHz 帯の電波を停止する必要があります。

Step1 無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線 LAN アクセスポイントを用意し、インターネットに接続する設定を行ってください。設定方法は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

重要

- ▶ 無線 LAN アクセスポイントは、セキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。
セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

無線 LAN アクセスポイントに設定した情報を、次の欄に記入してください。

記入後は第三者に漏れないよう注意してください。

ネットワーク名 (SSID)	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>



Step2 パソコンの設定をする

Windows 8.1 の標準機能を使って無線 LAN の設定を行う方法を説明します。

- 1 無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。
無線 LAN アクセスポイントの電源の入れ方については、無線 LAN アクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。
- 2 マウスポインターを画面の右上隅に合わせて「チャーム」を表示し、(設定) をクリックします。
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
- 3 「設定チャーム」で「利用可能」アイコンをクリックします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 4 次の画面の操作をします。



- ①「Wi-Fi」がオフになっていたら、(オフ) をクリックして (オン) にします。
- ②Step1で記入した無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリックします。
- ③「自動的に接続する」の をクリックして にします。
- ④「接続」をクリックします。

- 5 次の画面の操作をします。



①Step1で記入した無線 LAN アクセスポイントのパスワードを入力します。
「ルーターのボタンを押しても接続できます。」と表示されいたら、無線 LAN アクセスポイント(ルーター)のボタンを押して接続できる場合があります。
詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

- ②「次へ」をクリックします。

- 6 正しく設定できたか確認します。
正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。



Point

- ▶「接続済み」と表示されなかった場合は、もう一度、Step1で記入した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順5で入力したパスワードを確認してください。
- ▶無線 LAN アクセスポイントで設定した内容と同じ情報をパソコンに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線 LAN アクセスポイントの設定がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- ▶プロバイダーから提供されるインターネット接続に必要な情報が正しく設定されているか確認してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。

Microsoft アカウントに切り替える

Windows 8.1 では Microsoft アカウントでサインインすることで、様々な機能やサービスを快適に利用できます。インターネットに接続したら、ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えてください。

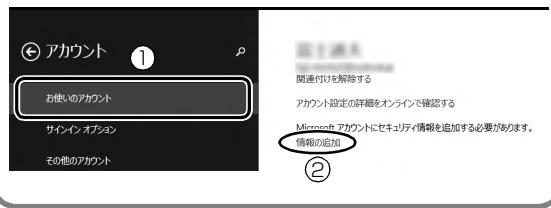
Microsoft アカウントに切り替える方法については、サポートページから Q&A ナンバー「8209-9156」を検索してご覧ください。

この PC で本人確認を行う

Microsoft アカウントに切り替えた後など、このパソコンを快適にお使いになるために、本人確認を行う必要がある場合があります。

- 1 「チャーム」を表示し、 (設定) をクリックします。
『Windows 8.1 基本操作 クイックガイド』
- 2 「設定チャーム」で「PC 設定の変更」をクリックし、「アカウント」をクリックします。
- 3 ①「お使いのアカウント」をクリックし、②「情報の追加」または「確認する」と表示されている場合は、本人確認を行う必要があります。

クリックし、その後は画面の指示に従って操作してください。



- この後は、「Windows のセットアップをする」の手順 19 (→ P.30) ~手順 20、および「パソコンを快適にお使いいただくための準備をする」(→ P.31) を行ってください。

インターネットを安心してお使いいただくために

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中のひととメールのやりとりをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。

特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- ・アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- ・他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- ・出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
- ・暴力残酷画像を集めたサイト
- ・毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術です。100% 万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。

「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の 2 つの方法があります。

「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。
・パソコンにフィルタリングの機能をもつアプリをインストールする

・インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用するこれらのアプリのインストール方法やご利用方法については、それぞれのアプリの説明書またはヘルプをご確認ください。なお、アプリやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルタ」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認のうえ、ご利用されることをお勧めします。

[参考情報]

- ・社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」
- ・デジタルアーツ株式会社 (i-フィルター® 6.0 提供会社)
「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」

■i - フィルター® 6.0について

このパソコンには、フィルタリング機能をもつ「i - フィルター® 6.0」が用意されています。使い方については、『取扱説明書<詳細版>』の「i - フィルター® 6.0」を使うをご覧ください。

パソコンの電源を完全に切る

日常的なパソコンの使用では、この方法で電源を切る必要はありません。

重要

▶ 次のような場合は、ここで説明している手順でパソコンの電源を切ってください。

- ・トラブル解決ナビを起動する
- ・BIOS セットアップを起動する

上記以外にも、操作前にパソコンの電源を完全に切る必要のある場合があります。

詳しくは、『取扱説明書<詳細版>』の「Windows を終了する」をご覧ください。

1 マウスポインターを画面の右上隅に合わせて「チャーム」を表示し、 (設定) をクリックします。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 「PC 設定の変更」をクリックします。

3 画面左側のメニューで「保守と管理」をクリックします。

4 画面左側のメニューで「回復」をクリックします。

5 画面右側のメニューで「今すぐ再起動する」をクリックします。

6 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をクリックします。

富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内

個人でご使用のお客様が本製品を廃棄する場合は、次のお申し込みホームページよりお申し込みください。

リサイクルの流れや注意事項などの最新の情報は、お申し込みホームページをご確認ください。

お申し込み ホームページ	http://azby.fmworld.net/recycle/ ※スマートフォンからもお申し込みできます。
お問い合わせ 電話番号	03-5715-3140 (通話料金お客様負担) 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日および弊社指定休日を除く)

PC リサイクルマークについて

PC リサイクルマークは、メーカーとユーザーのみなさまが協力し合って、ご使用済み家庭用パソコンを資源に変えるためのマークです（法人（個人事業主を含む）、企業は除く）。PC リサイクルマークが付いた使用済み当社製パソコンは、新たな料金負担なく回収・再資源化いたします。ご使用済み家庭用パソコンのリサイクル活動に、ぜひご協力をお願いいたします。

PC リサイクルマークの付いていない当社製パソコンについては、有償で回収・再資源化をうけたまわります。料金など詳しくは、お申し込みホームページをご確認ください。

PC リサイクルマーク



注1: 装置銘板は機種により異なります。

注2: パソコン本体にカバーなどがある機種は、PC リサイクルマークが隠れている場合があります。

重要

▶ 法人（個人事業主を含む）、企業のお客様へお申し込みホームページは、個人のお客様を対象にしています。

法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)をご覧ください。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンを廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があり、結果的にデータが流出してしまうことがあります。

原因として、パソコンのハードディスクに記録されたデータは、削除したり、ハードディスクを再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができるからです。また、ハードディスク上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合もあります。

そのため、パソコンを廃棄あるいは譲渡する際は、ハードディスク上のデータが第三者に流出しないよう全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス（有償）のご利用をお勧めいたします。

詳しくは、サポートページの「パソコン廃棄・譲渡前の常識！データを消去しよう」(<http://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/>)をご覧ください。

■ハードディスクデータ消去

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の1つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。

「ハードディスクデータ消去」は、WindowsなどのOSによるファイル削除やフォーマットと違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

「ハードディスクデータ消去」の使用方法については、サポートページからQ&A ナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください。

付属品の廃棄について

■使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

□個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則に従ってください。

□法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

■使用済みバッテリの取り扱いについて

バッテリパックを交換できる機種のみ

- ・リチウムイオン電池のバッテリパックは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- ・使用済みバッテリは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- ・バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

□個人のお客様へ

使用済みバッテリは廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクル BOX に入れてください。詳しくは、一般社団法人 JBRC 「ジェイビーアールシー」 のホームページ (<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>) をご覧ください。

弊社は、一般社団法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。



- ▶ リサイクルにお申し込みいただく場合は、バッテリパックは外さずに、パソコンといっしょにリサイクルにお出しください。パソコンのリサイクルについては、「富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内」(→ P.53) をご覧ください。

□法人・企業のお客様へ

法人・企業のお客様は、弊社ホームページ「ICT製品の処分・リサイクル方法」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。



このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

Li-ion

液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

LED バックライト付ではない液晶ディスプレイの蛍光管には水銀が含まれております。

廃棄を予定しているパソコンの仕様を確認してください。環境配慮のため、お申し込みホームページからリサイクルをお申し込みください (→ P.53)。

海外でのノートパソコンの修理について

お客様が海外滞在中に、万が一富士通ノートパソコンが故障した場合、滞在先の国や地域でもハードウェアの修理サービスを受けることができます。本サービスは、保証書に記載している保証期間にかかわらず、本体に最初に電源を入れた日から 1 年間は無料 [注] で修理を行います。2 年目以降は有料での修理となります。

本サービスをご利用いただける国・地域、サービス内容やご利用方法について詳しくは、弊社のホームページ (<http://azby.fmworld.net/support/globalrepair/>) の「海外でのノートパソコンの修理について」をご覧ください。

- 注：・機器本体に同梱された保証書記載の「無料修理規定」に定める範囲内の修理に限り、修理料金は無料となります。
・保証開始日は「@メニュー」から確認できます。
「安心・サポート」▶「トラブル診断」▶「目的でさがす」
▶「パソコンの情報を表示する」の順にクリックし、「パソコンの情報」が表示されたら「実行する」をクリックしてください。

■サービスのご利用方法

ご利用いただくにはユーザー登録が必要です（入会費・年会費無料）。ユーザー登録方法については、「ユーザー登録をする」(→ P.41) をご覧ください。修理サービスをご利用になる場合は、滞在地域のヘルプデスクに電話でご依頼ください（英語および現地語での対応となります）。

なお、ご利用の前に必ず弊社のホームページ (<http://azby.fmworld.net/support/globalrepair/>) をご覧ください。

■サービスのご利用上の注意

- ・修理にてハードディスク交換を行う場合、本サービスでは何も格納していない状態のハードディスクの取り付けまでを実施します。リカバリやデータ復元はお客様ご自身で実施していただきます。あらかじめご了承ください。
 - ・海外に渡航する場合は、リカバリディスクセットを作成して、お持ちくださいますようお願いいたします。作成方法は、『取扱説明書<詳細版>』の「リカバリディスクセットを作成しておく」をご覧ください。
- サービス拠点では、リカバリディスクの販売および日本からの取り寄せなどのサービスは行っておりません。あらかじめご了承ください。

- ・引取修理およびセンドバック修理の場合、パソコンの輸送に必要な梱包については、お客様ご自身で梱包箱を用意して行っていただきます。梱包箱の提供は有料となる場合があります。詳しくは窓口にご確認ください。

■海外でのご使用について

- ・本サービスの対象機種を含む富士通パソコンおよび周辺機器は日本国内仕様です。
- ・本サービスは、お客様個人の責任のもとで対象機種を一時的に海外（ただし対象地域に限る）に持ち出される場合に修理サービスをご提供するものであり、対象地域における動作保証をするものではございません。
- ・内蔵の無線 LAN、モバイル WiMAX、Bluetooth ワイヤレステクノロジーは日本以外の国または地域ではご使用になれません。

- ・内蔵のテレビチューナーおよび添付のテレビチューナー・ユニットは日本国内専用ですので、アンテナ入力端子にアンテナを接続しないでください。
- ・国・地域により電圧などが異なりますので、電源ケーブルなどは、ご使用になる国・地域の規格にあったものをご使用ください。
- ・富士通パソコンを海外に持ち出す場合や、海外で使用する場合については、サポートページから Q&A ナンバー「9206-6259」や「4301-7762」を検索してご覧ください。

□各地域のヘルプデスク情報

地域	サービス拠点	ヘルプデスク情報
北米地域	Fujitsu America, Inc.	<ul style="list-style-type: none"> ・電話番号 : +1-901-259-5790 ・営業時間 : 月曜日～金曜日 7時～19時 (中部標準時 UTC-06:00) ・対応言語 : 英語
ヨーロッパ、中東、アフリカ地域およびインド	Fujitsu Technology Solutions	<p>ホームページから滞在国・地域のヘルプデスクをご確認ください。 対応言語は英語および現地語となります。 http://support.ts.fujitsu.com/contact/servicedesk/ 注：ホームページは英語で表示されます。</p> <p>または、国際修理の central number にご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話番号 : +49-89-356-480-226 ・営業時間 : 月曜日～金曜日 9時～17時 (中央ヨーロッパ標準時 UTC+01:00) ・対応言語 : 英語、ドイツ語
アジア・パシフィック・オーストラリア地域 (インド、韓国、日本を除く)	Fujitsu PC Asia Pacific Ltd.	<p>修理の問い合わせについては、直接サービスセンター、もしくはヘルプデスクにご連絡ください。詳しくはホームページを確認してください。</p> <p>http://hk.fujitsu.com/pc/service_apac 注：ホームページは英語で表示されます。</p>

各地域のヘルプデスク情報については、弊社のホームページ (<http://azby.fmworld.net/support/globalrepair/list.html>) の「海外でのノートパソコンの修理について」にて最新情報を確認してください。

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

最新版はホームページに掲載しています。

<http://azby.fmworld.net/support/repair/syurikitei/>

第1条（本規定の適用）

- 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が富士通の「故障や修理に関する受付窓口」にて修理の依頼をされた場合、または富士通の専用ホームページ[http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html]（以下「専用ホームページ」といいます）にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合および販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
- 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が効くに適用されるものとします。

第2条（対象機器）

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ用の富士通製周辺機器（ただしプリンタは除きます）とします。

第3条（修理の形態）

- 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺ながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合には、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があるものとします。
 - 引取修理（パソコン修理便）
お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。
 - 訪問修理
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、富士通指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をお客様にご負担いただく場合があります。
- 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、ACアダプタにあると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

第4条（保証期間内の修理）

- 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
- 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
 - 保証書が対象機器に添付されていない場合
 - 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
 - ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、水没、落下等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
 - 富士通指定の有寿命部品、消耗品（バッテリ、乾電池等）または定期交換部品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
 - 接続している他の機器、非純正品、不適な消耗品またはメディアのご使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
 - お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
 - 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合（例：対象機器にブレンストールまたは添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、ウイルス感染による不具合等をいい、以下同じとします）の場合
 - お客様が設定されたパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合
 - お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障・損傷の場合（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）
- 第1項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞの料金が発生するものとします。

- 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
- 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合で、ソフトウェアの再インストールにより復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフトウェア再インストール料

第5条（保証期間外の修理）

- お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。
- 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。
 - 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
 - ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料
 - お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第6条第2項および第3項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。
 - お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、富士通指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要ないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第6条（修理料金の見積もり）

- 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとし、訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等お伺いした内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。富士通もしくは富士通指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
- 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から1ヶ月を超えて、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
- 第1項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合で、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要が生じた場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第7条（修理料金等の支払い方法）

- 第4条または第5条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第8条（修理期間）

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間で対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があるものとします。

- お客様から伺った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
- 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
- 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
- お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
- 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合

- 第12条第1項に定める補修用性能部品が在庫切れの場合

第9条（修理品の保管期間）

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了および返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から6ヶ月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用および当該処分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第10条（故障部品の取り扱い）

修理を行るために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものと

します。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第 11 条（修理ご依頼時の注意事項）

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただいくものとします。

- (1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
- (2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムおよび設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。）なお、修理および修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第 6 条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。
- (3) 富士通は、修理および修理前の診断作業の過程で、インターネットへの接続確認等の目的で対象機器をインターネットに接続する場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第 6 条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程で対象機器がインターネットに接続されている場合があります。なお、当該接続によりデータ等が変化・消去される場合があります。また、富士通は、当該接続によりデータ等が変化・消去される等の問題が生じ、当該問題を解決するために必要と判断した場合、データ等を変更・消去等する場合があります。
- (4) 修理完了後のオペレーティングシステム（OS）ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
- (5) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
- (6) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。
- (7) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。
- (8) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体（CD、DVD、メモリーカード、フロッピディスク、MO 等）、他の機器との接続ケーブル、および添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。
- (9) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨富士通からお客様にお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。
- (10) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。
 - a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
 - b. ウィルスの除去
 - c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
 - d. データ等のバックアップおよび復旧作業
- (11) 訪問修理の場合であって、富士通または富士通指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が 2 週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

第 12 条（補修用性能部品）

1. 補修用性能部品は、製品の機能を維持するために必要な部品をいい、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む）とします。

2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第 13 条（個人情報の取り扱い）

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報（以下「お客様の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
 - (1) 修理を実施すること。
 - (2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
 - (3) お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。

- (4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、および当該同意を得た利用目的に利用すること。
2. 富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 14 条（責任の限定）

1. 富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 ヶ月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。
2. 合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。
3. 対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。また、富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。
4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第 15 条（変更）

富士通は、本規定の内容を変更する必要が生じた場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条（専属的合意管轄裁判所）

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付則

本規定は、2014 年 4 月 1 日から実施します。

■対象機器

- ・ARROWS Tab QH シリーズ
- ・ARROWS Tab Wi-Fi QH シリーズ
- ・FMV シリーズ
- ・FMV STYLIC QH シリーズ
- ・ESPRIMO / LIFEBOOK（品名が以下のように表記される製品）

品名： * H *** / ***
↑ 数字 ↑ 数字またはアルファベット
アルファベット (2 ~ 3 術) (1 ~ 3 術)

品名： W * * / *
↑ 数字 ↑ アルファベット
アルファベット 数字

品名： * H / R **
↑ 数字またはアルファベット
アルファベット (1 ~ 2 術)

仕様一覧

パソコン本体の主な仕様

ここでは、パソコン本体の主な仕様を紹介しています。

■仕様の調べ方

仕様について詳しくは「富士通アドバイザー」(→ P.31) の「サポート & サービス情報」から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのパソコンの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

●保証書

●パソコン本体の裏面に貼付されたラベル

●「@メニュー」を起動し、「安心・サポート」▶「トラブル診断」▶「パソコンの情報を表示する」を選択すると表示される画面



▶ 型名の確認方法の詳細は、サポートページから Q&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます。

■LIFEBOOK AH30/L

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.59) をご覧ください。

品名		LIFEBOOK AH30/L	
型名		FMVA30LW2	FMVA30LB3、FMVA30LB4
CPU ^{注1}		インテル® Celeron® プロセッサー 1005M	
メインメモリ		PC3-12800 DDR3 SDRAM、ECC なし	
標準容量	2GB (2GB × 1) デュアルチャネル対応可能	4GB (4GB × 1) デュアルチャネル対応可能	
	最大容量	8GB ^{注2}	
CD/DVD ドライブ ^{注3}		スーパーマルチドライブ	
無線 LAN ^{注4}	規格	IEEE 802.11a/b/g/n 準拠 (5GHz 帯チャンネル : W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) ^{注5}	
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 ^{注6}	
電源供 給方式	AC アダプタ ^{注7}	入力 AC100V ~ 240V、出力 DC19V (3.42A)	
	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン 24Wh	
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.58)。	
外形寸法(幅×奥行×高さ) (突起部含まず)		378 × 252 × 35.7mm	
本体質量 (バッテリパック含む) ^{注8}		約 2.4kg	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

仕様一覧の注記について

- 注 1 ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。
- 注 2 最大メモリ容量にするために、メモリスロットにあらかじめ搭載済みのメモリを取り外して、別売の増設メモリを取り付ける必要があります。
- 注 3 読み出し、書き込み速度については、ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください（→ P.58）。
- 注 4 無線 LAN の仕様については、『取扱説明書＜詳細版＞』の「無線 LAN」をご覧ください。
- 注 5 Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。
- 注 6 IEEE 802.11n 準拠を使用したときは、MIMO 方式にもなります。
- 注 7 標準添付されている電源ケーブルは AC100V（国内専用品）用です。また、矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続されると、故障する場合があります。
- 注 8 各製品で質量が異なる場合があります。

■商標および著作権について

インテル、Intel、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。Roxio、Roxio のロゴ、Roxio Creator は Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。

Corel、Corel のロゴ、WinDVD は Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。

McAfee、マカフィーは、米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。

デジタルアーツ /DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i- フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

デジブックは株式会社トリワークスの登録商標です。

「メモリースティック」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。



SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
ExpressCard™、ExpressCard™ ロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の商標で、富士通へライセンスされています。

Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Boost is a trademark of DTS (BVI) Limited (in Hong Kong and China) and DTS, Inc. (outside of Hong Kong and China). © DTS, Inc. All Rights Reserved.



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、富士通へライセンスされています。

Google、Google ロゴ、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。

@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

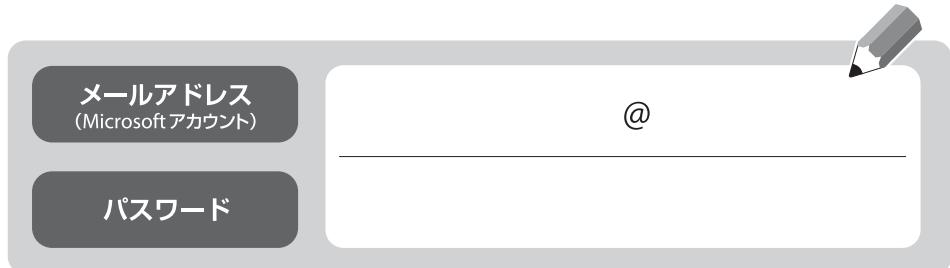
その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Memo

Microsoftアカウント

メールアドレス(Microsoftアカウント)、パスワードを記入してください。



※第三者に漏れないよう充分に注意して管理してください。

LIFEBOOK AH シリーズ

取扱説明書

B5FK-4631-01-01

発行日 2014年12月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および
その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

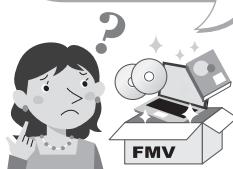


パソコン操作に困ったら、**お電話ください。**
プロがご自宅にお伺いし、解決します！

富士通パソコン出張サービス PC家庭教師

(有料)

セットアップって
むずかしそう…
やってくれないかな。



ウイルス感染!?
うちに来て、
みてほしい。



デジカメの写真、
どうやって
プリントするの？



パソコン 基本設定

めんどうなパソコンのセット
アップは、お任せください！

14,300円(税込)～

かけつけ診断

原因がわからないトラブルも
プロが解決に導きます！

10,100円(税込)～*

教えて パソコンレッスン

お客様の「したい」ことを
丁寧にご説明します！

14,300円(税込)～

(注)メニュー名、料金は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※診断の結果、必要なリカバリ等の作業が発生した場合、別途費用が発生します。

通話料
無料

みんな
つなぐ
0120-37-2794

■受付時間：10時～19時 ■訪問時間：10時～20時 (有料サービス)

※携帯電話、PHSからも通話可能です。システムメンテナンスのため、休止させていただく場合がございます。

「PC家庭教師」は弊社指定のサービス会社がご自宅に伺い、その場でサポートする有料の出張サービスです。電話での技術相談をご希望の場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

「PC家庭教師」のほかにも、富士通の有料サービス「バリューplus」では、多彩なメニューをご用意しております。
詳しくはホームページをご覧ください。

- 例 ●Word、Excelも電話で相談できるPCコンシェルジュサービス
●3年間メーカー延長保証サービス など

富士通 バリューplus

検索

